

“創る”を“共に”福岡の未来をひらく技術拠点

福岡県工業技術センター

概要と成果

Fukuoka Industrial Technology Center



令和7年度版

福岡県

ご挨拶



人手不足、原材料価格の高騰、デジタル化や脱炭素化の動きなど、県内企業を取り巻く環境は厳しく、大きな変化の渦中にあります。

このような中、企業が持続的に成長発展していくためには、環境変化へ適応しつつ、将来を見据えた新技術・新製品の開発や生産性向上を図ることが重要となります。

福岡県工業技術センターは、ものづくり中小企業に最も身近で、現場の技術的課題に精通した公設試験研究機関として、「研究開発」、「人材育成」、「技術相談・試験分析」、「交流・連携」、「情報発信」の5つの基本業務により、企業の新技術・新製品の開発や生産性向上の取り組みを技術面から総合的に支援しています。

近年は、「高分子材料開発支援ラボ」、「ふくおか食品開発支援センター」、「家具試作・評価支援ラボ」、「デジタル化実証支援ラボ」の4つの支援拠点の整備に加え、新技術・新製品の開発に資する多くの機械設備等を新たに導入し、支援体制を拡充強化してきました。

また、幅広い県内企業の皆様に当センターの活動を知って頂くとともに、課題やニーズ等を調査し、より効果的な支援につなげるため、「コネクトグループ」を設置しました。

さらに、オンライン技術相談システムを強化して、より負担なくご相談できる体制を整備しました。

このたび、これらの支援業務を通じた成果等を整理し、令和7年度版「福岡県工業技術センター 概要と成果」を取りまとめました。概要部分では、各研究所が担当する技術分野や支援機能を掲載しておりますので、技術開発などを行う際に参考にして頂きたいと思えます。

私ども福岡県工業技術センターは、「“創る”を“共に” 福岡の未来（あす）をひらく技術拠点」をキャッチフレーズに、県内企業1社1社の“創る”に寄り添い、“共に”課題解決に取り組んでいます。福岡の未来（あす）を創る活動を共に進めるため、当センターのご活用を心よりお待ちしております。

令和7年10月

福岡県工業技術センター 所長 野見山 修治

福岡県工業技術センター 概要と成果

目次

概 要

	ページ
主な業務	1
組織、沿革	2
福岡県工業技術センター各研究所	3
新たな製品開発支援	5
新規導入備品	6
人材育成	7

成 果（実用化事例）

	ページ
● ゴム・プラスチック	
シリコンへのオンデマンド加飾プロセスの開発	13
極低温でも使用可能な高圧水素用Oリング	
耐久性を向上させた靴用甲ゴム織物	14
無溶剤で使用可能な加硫接着剤フィルム	
ベルト装着可能な持ち手「motte(モッテ)」	15
コンクリートひび割れ防止用プラスチックスペーサ	
● 金属・セラミック	
金属材料のテンパーカラー防止技術	16
複合表面処理による高耐久金属部品	
耐屈曲性に優れた極細アルミニウム合金導体	17
極限状態に耐える高機能樹脂めっき	
レーザ切断性に優れた厚板	18
マグネシウム合金への化成処理技術	
シェーバー用新型内刃ドラムレーザー刃	19
高窒素ステンレス鋼ワイヤーの連続製造装置	
超高層ビル柱用の溶接部の靱性に優れた厚板	20
高寸法精度イブシ瓦製内装用壁建材	
陶器スピーカー「プレス」	21
内装用薄物いぶし瓦壁建材	
デザイン敷瓦製造の低コスト成型加工技術	22
チタン酸バリウムナノ粒子分散液	
● 繊維	
介護に係る現場での洗える防臭インナーマスク（鼻マスク）	23
臭気対策用布マスク（ケミカルファブリック働く人のためのマスク）	
正しいマスク	24
藍染色装置製作による染色加工量産化	
特殊防水シート「マジカルカバー」	25
洗濯や摩擦で色移りしない高品質の久留米絨製品	
使用感をデータ化したクロス商品	26
● 食品・バイオ	
センダン材で香味付けたお酒「WWW」	26
清酒酵母を使用した香り豊かなクラフトビール	27
乳酸発酵あまおうピューレと発酵ジャムの開発	
味わいに優れた低アルコール清酒の開発	28
長期保存可能な「飯場たけのこの水煮」	
日持ち性を向上させた米粉焼きドーナツ	29
おいしさ長持ち草木饅頭	
椎茸で日本初の機能性表示食品	30
機能性表示食品「ジンジャーシロップ金姜柑」	

● 食品・バイオ（つづき）

九州産オリーブ葉を用いた加工食品	3 1
フリーズドライ醤油粉末を使った調味料「塩粉しょうゆ」	
あまおう由来の乳酸菌「王様いちごの乳酸菌」	3 2
福岡オリジナル吟醸酒	
間葉系幹細胞用自動培養装置	3 3
アカモクエキス入り洗顔料（クレンジングバーム）	
試験片用バイオフィーム形成能測定キット	3 4
微生物およびバイオフィーム測定キット	
オールインワン美容液ジェル	3 5
化粧品・医薬部外品用 ブタ由来プラセンタエキス	
プラセンタエキス配合化粧品	3 6

● 環境・リサイクル

金属精錬工程で使われるスラグ発泡抑制材	3 6
微生物を使った豚のにおい対策飼料「201」（におわん）	3 7
グリーストラップ浄化システム	
SDGsに対応したクロムめっき液再生装置	3 8
錫めっき廃液からの錫回収装置	

● 家具・デザイン

「読書」を極める小型家具	3 9
猫と使う収納家具	
ノックダウン式のキッズデスク・チェア	4 0
優しさを感じる猫用木製家具	
着物ビギナーに向けたコンパクトな桐筆箱	4 1
年輪材の価値を感じることができるテーブル「MONUMENTAL」	
木を使ったモダンデザインのフロアライト「ROTINI」	4 2
キッズスツール&デスク「totte」	
指挟み防止ドア	4 3
ウィンザースタイルのダイニングセット	
インテリアの中心になる美しいゴミ箱 o-Ne（オネ）	4 4
姿勢良く座れる幼児用いす「ピットチェア」	
座り心地を追求した木製ダイニングチェア	4 5
マグネットが付く化粧板	
高級浴室向け木製グレーチング部材	4 6
適切な筆記姿勢に導く手置き具	
胴体にらせん状の溝を加工した独楽（コマ）	4 7
適切な姿勢に導く、持ち運べる学習台	
木材薄板を用いた容器類	4 8
不燃木材	
素材感を保持できる木材のソーブフィニッシュ処理液	4 9
低分子フェノール樹脂注入木材	

● 機械・ロボット

冷凍庫温度均一化3Dダクト	5 0
輻射空調パネル	
甘夏みかんの自動外皮剥皮装置	5 1
プラスチック金型用冷却促進構造	
高容量発電機負荷試験装置	5 2
電力損失低減に優れた永久磁石発電機	
木質系バイオマス燃焼ボイラ	5 3
新構造低コストステンレス製氷板	
超音速湿式ジェットミル	5 4
超精密洗浄ノズル	
ポール型点検ロボット	5 5
小径管内検査ロボット	

● 機械・ロボット（つづき）

配管内検査ロボット	5 6
-----------	-----

● 加工・計測

GFRP製下水道補修管穿孔用工具	5 6
転写金型製造技術を利用したLEDレンズ金型	5 7
高アスペクト比を有する小径深穴加工技術	
機上計測式研削盤	5 8
産業用薄板タンク	
X線応力解析を活用した伝熱ディスクの製造	5 9
3Dスキャナを活用した神楽面の復元	

● 電子・ソフトウェア

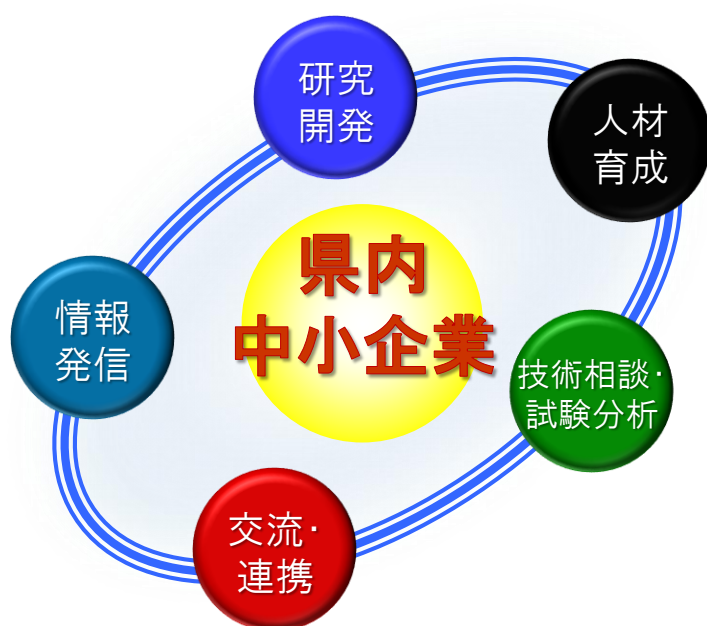
IoT/DX汎用モジュラーデバイス BraveJIG	6 0
IoT導入支援 組立てモジュール BravePI	
生産進捗管理システム YokaKit	6 1
生産現場の見える化を体験する「IoT導入支援キット」	
トルネード式UV-Cサーキュレーター Impact Blaster	6 2
UV-A除菌脱臭 バウム灯	
LED照明色温度の切り替えが可能なソーラーLEDライト	6 3
サイン用ソーラーLEDブラケットライト SIGNaGE	
低コストLED照明器具	6 4
無電極ランプ照明	
作業者接近検知システム	6 5
医療用眼撮影装置	
QRコード出退勤打刻システム	6 6
新毒劇物管理システム（福岡県工業技術センター専用）	
デジカメ三次元計測システム「デジカメ計速」	6 7
● その他	
高純度Japan Waxの製造法および長期安定化技術	6 7
レールボンド打音検査装置	6 8
高耐久性新型レールボンド	

工業技術センターからのご案内

福岡県工業技術センタークラブのご案内	6 9
メールマガジンのご案内	6 9
各研究所へのアクセス	7 0

福岡県工業技術センターは、中小企業を中心とする県内企業（以下「企業」という）1社1社の“創る”に寄り添い、“共に”課題解決に取り組んでまいります。また、将来を見据えた技術の蓄積にも取り組み、企業みなさまにご活用いただくことを通じて、福岡の未来を切り拓いていきたいと考えています。技術的なお困りごとの相談のほか、研究開発、ものづくりを担う人材の育成等、様々な技術支援を行うハブとして技術拠点を目指してまいります。

主な業務



研究開発

「ものづくり基盤技術の高度化」「デジタル技術の積極活用」「カーボンニュートラルへの対応」を柱とし、最終的に企業みなさまにご活用いただくことを目的とした実践的研究開発を行います。

人材育成

生産現場のものづくりを担う人材や新たな技術を開発する人材の育成を目指し、関係団体等とも連携してセミナーや講習会、研修等を行います。

技術相談・試験分析

企業みなさまが抱える課題やニーズを把握し、試験分析を行う、あるいは研究開発や人材育成へ展開するなどきめ細やかな支援を行います。

交流・連携

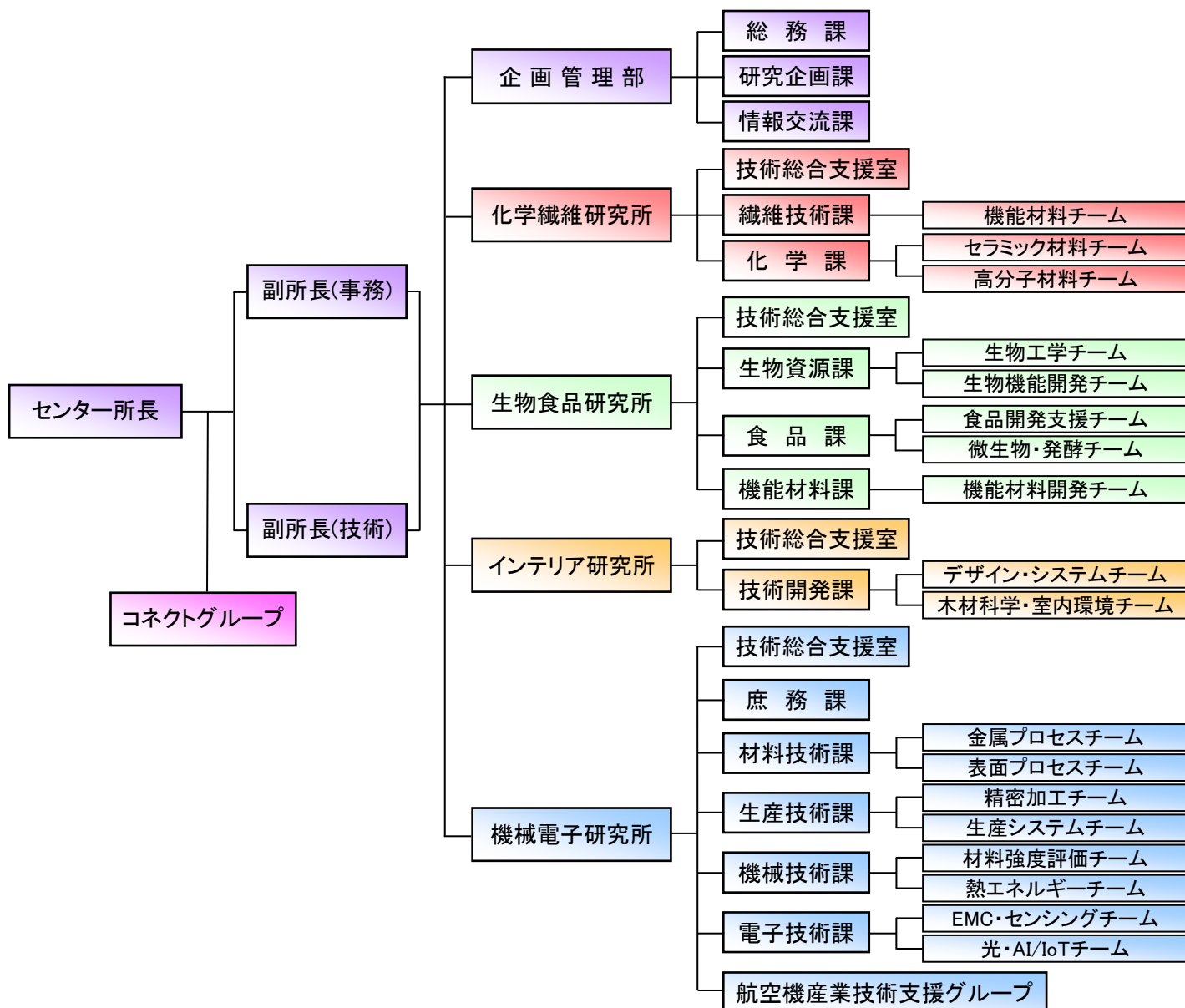
研究会活動の運営や産学官連携活動への参画等により企業や産業支援機関、研究機関等と連携します。

情報発信

研究開発成果やセンター活用事例、センターが保有する技術や機器、支援機能等の情報を積極的に発信します。

組織

福岡県工業技術センターは、企画管理部、化学繊維研究所、生物食品研究所、インテリア研究所、及び機械電子研究所から構成されています。



沿革

大正 14 (1925) 年 4月	福岡県福岡工業試験部、久留米工業試験部、福島工業試験部発足
昭和 2 (1927) 年 4月	各試験部を試験場に改称
昭和 13 (1938) 年 8月	福岡県金属工業試験場設立 (昭和56(1981)年 廃庁)
昭和 23 (1948) 年 8月	久留米工業試験場を国へ移管
昭和 29 (1954) 年 6月	福岡県直方鉱業試験場設立 (昭和56(1981)年 廃庁)
昭和 29 (1954) 年 11月	福岡県福岡工業試験場久留米分場設置 (昭和53(1978)年 廃庁)
昭和 32 (1957) 年 3月	福岡県福島工業試験場大川分場設置 (昭和37(1962)年 大川木工指導所に改称)
昭和 40 (1965) 年 4月	福岡県福島工業試験場大川木工指導所を福岡県大川木工指導所に改称
昭和 53 (1978) 年 5月	久留米分場を福岡工業試験場に統合 (新庁舎を筑紫野市に設置)
昭和 56 (1981) 年 6月	金属工業試験場と直方鉱業試験場を統合し、福岡県北九州工業試験場設立
昭和 57 (1982) 年 4月	福岡県大川木工指導所を福岡県大川工業試験場と改称
平成 2 (1990) 年 4月	統合により4研究所体制の福岡県工業技術センター設立、4試験場を改称 (化学繊維研究所、材料開発研究所、インテリア研究所、機械電子研究所)
平成 7 (1995) 年 4月	材料開発研究所を廃庁し、福岡県工業技術センター生物食品研究所設立 現在に至る

福岡県工業技術センター 各研究所

企画管理部

研究企画課

試験研究の総合企画・調整、
試験研究の成果の管理

総務課

予算、財務会計、庶務

情報交流課

技術交流の発信、研究成果の普及促進、
技術交流の総合窓口

化学繊維研究所 繊維及び有機・無機材料関連技術

技術総合支援室（技術相談窓口）TEL 092-925-7402

繊維技術課

機能材料チーム

繊維材料の機能、染色加工技術

（主要設備）

風合い計測システム、冷温感測定装置、耐光試験機、摩擦帯電圧測定装置、
ガーメントプリンタ、恒温恒湿槽付属低荷重万能試験機、低温恒温恒湿器、
通気度試験機、可視紫外分光光度計、色差計、カスタム式摩耗試験機、
テーバー型摩耗試験機、デジタルマイクロ스코プ、大気圧プラズマ装置



風合い計測システム

化学課

セラミック材料チーム
高分子材料チーム

無機材料、高分子材料

（主要設備）

高分解能X線CT、波長分散型蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回折装置、
紫外可視近赤外分光光度計、顕微赤外分光光度計、熱分析装置（TG-DTA, DSC）、
電界放射型走査電子顕微鏡（FE-SEM）、粒度分布測定装置、粉体評価システム、万能試験機、
衝撃試験機、メルトインデクサー、多目的粉碎機、成形加工試験システム、射出成形機



高分解能X線CT

生物食品研究所 食品及びバイオテクノロジー関連技術

技術総合支援室（技術相談窓口）TEL 0942-30-6213

生物資源課

生物工学チーム
生物機能開発チーム

バイオテクノロジー

（主要設備）

孵卵器、実体顕微鏡、位相差生物顕微鏡、分光光度計、マイクロプレートリーダー、電気恒温器、
遠心分離機、電気泳動装置、倒立蛍光顕微鏡

食品課

食品開発支援チーム
微生物・発酵チーム

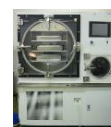
食品加工技術、発酵技術

（主要設備）

有機酸分析装置、ケルダール自動窒素・蛋白質分析装置、グルコース自動分析装置、
凍結乾燥機、高速液体クロマトグラフ、分光光度計、安全キャビネット、オートクレーブ、
レトルト殺菌機、マルチプレート用発光分析装置、GC-FID、卓上電子顕微鏡、
食品物性試験機、マスコロイダー（電動石臼）、温風乾燥機、ロータリーカッター、
ハンマーミル



レトルト殺菌装置



大型凍結乾燥機



食品物性試験機

機能材料課

機能材料開発チーム

抄造技術を利用した材料関連技術

（主要設備）

引張試験機、破裂度試験機、引裂度試験機、通気度試験機、白色度測定機、シートマシン、ピーター、ろ水度試験機

インテリア研究所 生活・住環境関連技術

技術総合支援室（技術相談窓口）TEL 0944-86-3259

技術開発課

デザイン・システムチーム 家具、木質材料、デザイン
木材科学・室内環境チーム CAD/CAM、NC加工技術

（主要設備）

燃焼性評価システム、家具強度試験機、3次元CAD/CAMシステム、デジタルマイクロスコップ、比表面積・細孔分布・蒸気吸着量測定装置、三次元表面粗さ測定機、フーリエ変換赤外分光光度計、体圧分布測定装置、赤外線熱画像装置、恒温恒湿器、万能試験機、丸鋸盤、自動鉋盤、卓上ボール盤、広幅型ホットプレス、帯鋸盤、フレームソー、多段式曲げプレス、グルースプレッド



家具強度試験機

機械電子研究所 金属系材料及び機械・電子関連技術

技術総合支援室（技術相談窓口）TEL 093-691-0231

材料技術課

金属プロセスチーム 金属材料、金属表面処理
表面プロセスチーム

（主要設備）

レーザ加工システム、ファイバーレーザ溶接機、金属粉末製造装置、ガス雰囲気炉、高周波溶解炉、摩擦摩耗試験機、超微小押し込み硬さ試験機、塩水噴霧試験機、金属材料元素分析装置、ナノ金属組織解析システム、電子線マイクロアナライザー、分光色差計、X線回折装置、蛍光X線分析装置、三次元粗さ解析走査電子顕微鏡、グロー放電発光分析装置、ICP発光分析装置



レーザ加工システム



摩擦摩耗試験機

生産技術課

精密加工チーム 金属材料の加工技術、
生産システムチーム NC加工技術

（主要設備）

金属積層造形装置、射出成型機、真空脱脂焼結炉、非接触3次元形状評価システム、表面形状測定システム、高精度3D形状測定機（三次元測定機）、高精度三次元加工機、高精度放電加工システム、微細形状測定装置、精密NCフライス盤



金属積層造形装置

機械技術課

材料強度評価チーム 材料・構造物の強度評価、
熱エネルギーチーム 熱流体の計測・解析

（主要設備）

万能試験機（2000kN、1000kN、100kN）、マイクロフォーカスX線CT、硬度計、振動試験システム、3次元デジタルひずみ評価システム、高度解析システム、フラッシュ法熱物性測定システム、熱流体可視化システム、熱膨張係数測定装置



3次元デジタルひずみ評価システム

電子技術課

EMC・センシングチーム 照明評価、EMC、3次元造形
光・AI/IoTチーム

（主要設備）

マルチ樹脂材料3Dプリンタ、3次元造形機、LED照明特性評価システム、紫外線測定システム、光学設計解析システム、電磁ノイズ測定室、EMC対策支援システム、雑音総合評価試験機



マルチ樹脂材料3Dプリンタ

庶務課

財務会計、庶務

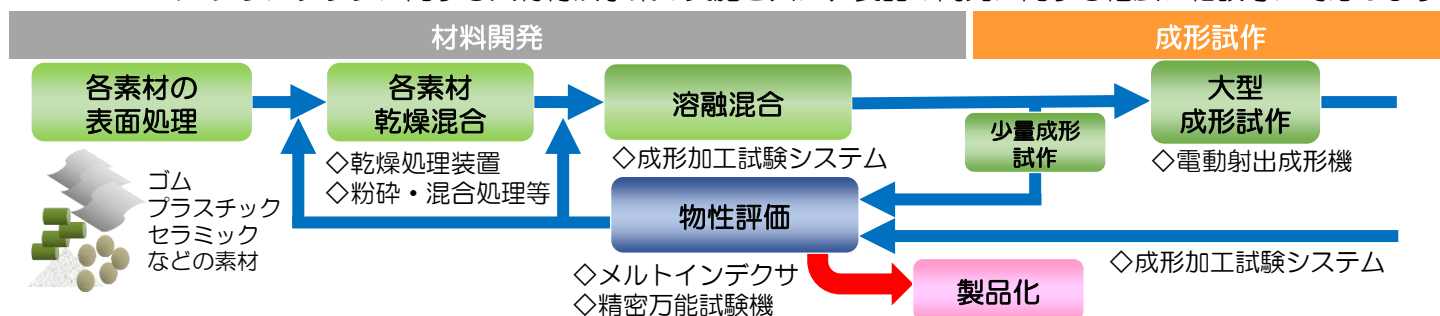
航空機産業技術支援グループ

県内中小企業の航空機産業分野への参入支援

新たな製品開発支援

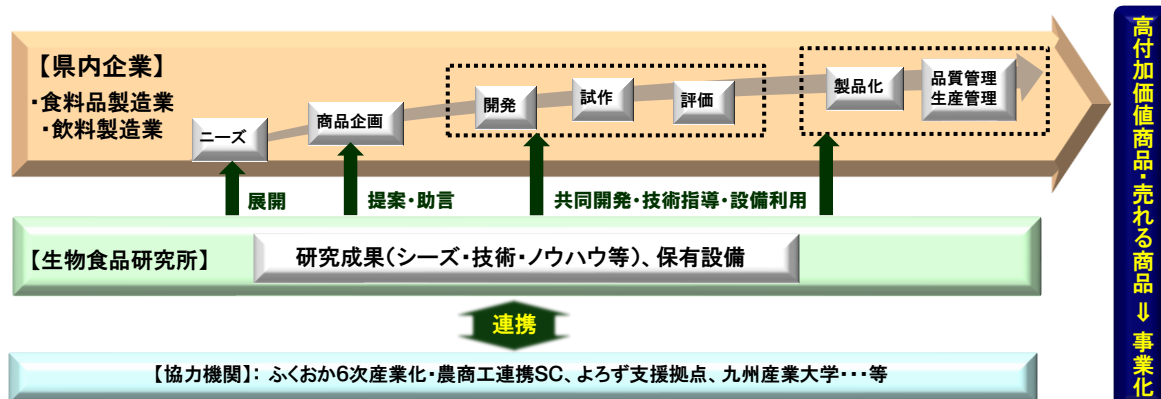
高分子材料開発支援ラボ（平成30年5月 化学繊維研究所内に開設）

- 概要
- ・高分子材料（ゴム・プラスチック）やフィラー（セラミック、繊維等）の前処理から配合、加工、評価まで一連の開発が可能です。
 - ・企業では対応困難な少量の原料素材での混合ができるため、多品種のサンプル作製が可能です。
 - ・ゴム・プラスチックに関する人材育成事業の実施と共に、製品の開発に関する幅広い相談等に対応します。



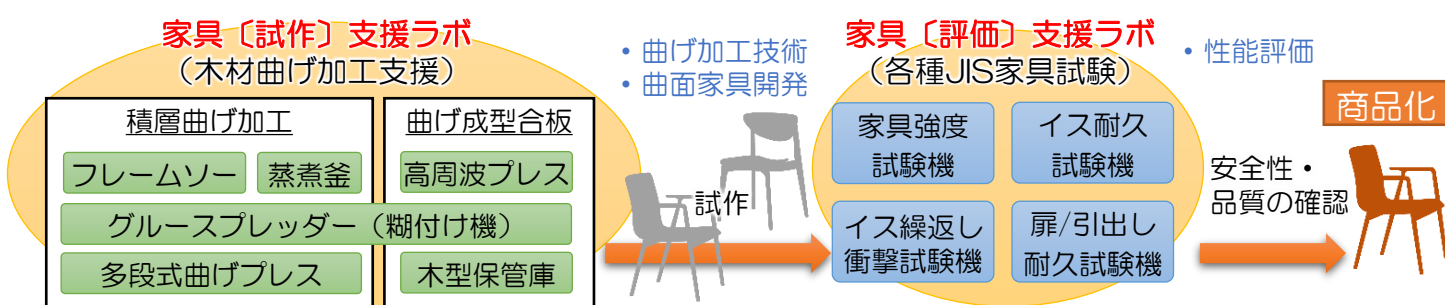
ふくおか食品開発支援センター（平成26年11月 生物食品研究所内に開設）

- 概要
- ・加工及び分析機器を整備し、食品の加工から評価・助言まで一連の試作開発支援を行います。



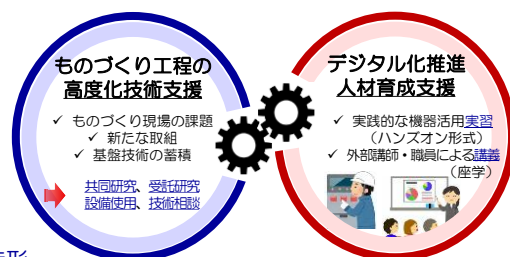
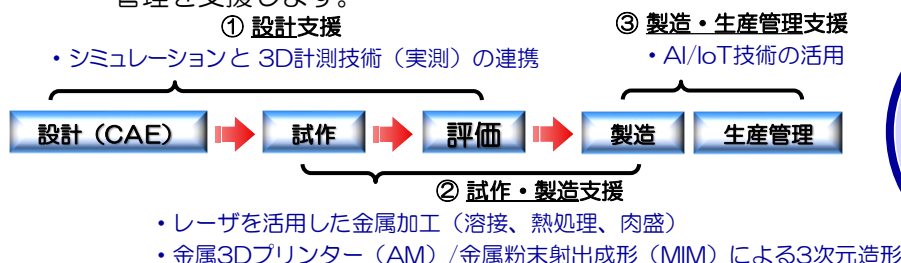
家具試作・評価支援ラボ（令和元年5月 インテリア研究所内に開設）

- 概要
- ・木材の曲げ加工に関連する機器を整備し、曲面を持つ新しいデザインの家具の試作開発を支援します。
 - ・JISに準じた家具の試験が可能な機器を取り揃え、家具の安全性・品質等の性能評価を支援します。



デジタル化実証支援ラボ(令和3年10月 機械電子研究所内に開設)

- 概要
- ・設計から試作・製造・生産管理までの各工程に対応したデジタル化支援設備を整備し、デジタルデータ活用による技術の高度化、製品の高品質・高付加価値化、生産性向上を支援します。
 - ・①CAEを活用した設計、②レーザ、AM・MIMを活用した試作・製造、③AI/IoTを活用した製造・生産管理を支援します。



新規導入備品

表面形状測定システム

令和6年度導入

装置概要

先端 $2\mu\text{m}$ の測定子で表面をなぞることによって表面形状や粗さを測定できる接触部と、光干渉法によって膜厚の厚さを計測する非接触部で構成されています

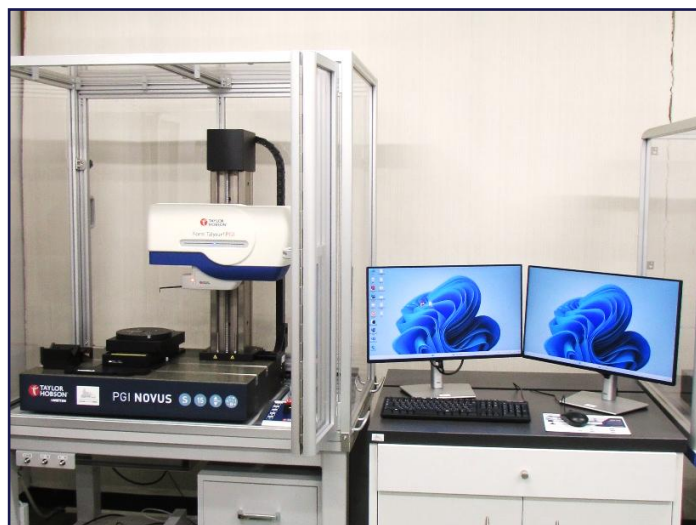
メーカー・型式

接触部：
(株)アメテック テーラーホブソン事業部・PGI NOVUS
非接触部：ヤマト科学(株)・SM-100P

仕様・性能

【接触部】
分解能(検出器): 0.2nm
測定範囲(検出器): 15mm
測定長さ: 200mm
Z軸コラム高さ: 約 380mm

【非接触部】
測定膜厚範囲: $0.1\sim 100\mu\text{m}$ (多層の場合 $1\sim 100\mu\text{m}$)
最大層数: 3層
測定スポット径: $\Phi 1\text{mm}$ 以下



問い合わせ先

機械電子研究所 生産技術課

電話番号: 093-691-0231

人材育成

繊維技術講習会

化学繊維研究所

主 催

化学繊維研究所 繊維技術課



座学



実習

問い合わせ先

化学繊維研究所 繊維技術課

電話番号: 092-925-5933

講座概要

繊維に関する以下のような技術講習会を実施しています。

- ・個別機器講習会
- ・繊維関連組合向け講習会
- ・繊維に関連する講習会

機器講習会は繊維関連企業のみならず、インテリア、産業資材関連など幅広く門戸を開いています。

組合への講習会は、参加し易いように各産地へ出向き、具体的な課題や情報を発信し、意見交換を行っています。

実績など

【開催時期】

個別機器講習会: 通年

講習会: 5月～2月

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

個別機器講習会: 延べ85名

講習会: 延べ16名

くるめゴム技術講座

化学繊維研究所

主 催

(株)久留米リサーチ・パーク
化学繊維研究所 化学課



第7回ものづくり日本大賞 人材育成支援
部門 経済産業大臣賞 受賞

問い合わせ先

株式会社久留米リサーチ・パーク 研究開発部

住所: 久留米市百年公園1-1

電話番号: 0942-37-6114

講座概要

加硫ゴムの異常原因を解析するための手法・各種分析方法を習得することを目的としたゴム技術者の育成を行っています。

正常品及び物性異常を生じさせたサンプルについて次の実習を実施します。

- ・物性(引張、硬さ等)の差異を確認後、異常原因の推定
- ・推定原因を実証するための各種分析
(抽出操作、赤外分光、蛍光X線、熱分析等)
- ・第三者に分かり易く説明するためのプレゼンテーション資料の作成

実績など

【開催時期】

基礎コース: 毎年6月 6時間×3日間、3.5時間×1日間

実習コース(初級編、応用編): 各毎年7月～9月
6.5時間×4日間

【工業技術センターの役割】

実習講座の企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

基礎コース: 21名

実習コース: 4名

人材育成(つづき)

プラスチック中核人材育成講座

化学繊維研究所

主催

化学繊維研究所 化学課
福岡県プラスチック工業会



問い合わせ先
化学繊維研究所 化学課

電話番号: 092-925-7723

講座概要

射出成形作業に従事し、技能検定1級2級の資格を身に付けようとする方を対象にした実技と学科試験の講習会を開催しています。

実技講座では、現場の中核として活躍できる人材育成を念頭に、成形条件設定や不良対策を学びます。

学科講座では試験のポイントを解説する他、試験装置に触れて試験で問われる問題の本質を理解できるようなカリキュラム構成としています。

実績など

【開催時期・期間】

実技: 5月上旬、7時間×3日間

学科: 8月上旬、7時間×1日間

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

実技: 9名

学科: 9名

微生物取扱い講座

生物食品研究所

主催

生物食品研究所 食品課 生物資源課



問い合わせ先
生物食品研究所 食品課

電話番号: 0942-30-6215

講座概要

微生物を取り扱った経験の少ない方を対象に、微生物試験等を実施するために必要な基本的な考え方と手技を習得するマンツーマン実技講習会を開催してきました。令和6年度は日程を3日間に変更し、最近使用例が増えてきた微生物検出資材の使用実習などを追加し、より充実した内容で実施します。

・座学: 微生物の取扱い全般

・実技: 培地作製、無菌操作、一般生菌数測定、

新しい微生物検出資材の利用、顕微鏡観察など

(令和6年度実施講座)

○微生物取扱い実習【基礎編】

実績など

【開催時期・期間】

年6回程度実施、3日間/回

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

第1回: 2名 第2回: 2名 第3回: 2名 第4回: 2名

第5回: 1名 第6回: 1名 第7回: 1名 計11名

人材育成(つづき)

酒造技術者育成講座

生物食品研究所

主 催

日本酒造組合中央会(製造責任者養成コース)
九州酒造研究会(基礎コース)



問い合わせ先
生物食品研究所 食品課

電話番号: 0942-30-6215

講座概要

清酒製造責任者の育成等を目的に、講義と実習による酒造技術者の育成を行っています。

- ・製造責任者養成コース: 微生物実習、きき酒実習、酒米分析実習
- ・基礎コース: 日本酒度、アルコール分、総酸度・アミノ酸度に関しサンプリングや器具の取扱方法等について講義と実習

実績など

【開催時期・期間】

製造責任者養成コース: 6月・6時間×3日
基礎コース: 7月・6時間×1日
県酒造業支援事業: 5~11月、12回

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

製造責任者養成コース: 6名
基礎コース: 14名
県酒造業支援事業: 延べ189名

デザインブラッシュアップ講座

インテリア研究所

主 催

福岡県工業技術センタークラブ デザイン部会
(事務局: インテリア研究所 技術開発課)



問い合わせ先
インテリア研究所 技術開発課

電話番号: 0944-86-3259

講座概要

受講企業が抱える自社商品の課題に対し、企画、デザイン、販売面で“魅せる仕掛け”の支援を行うことを目的とした講座です。デザイン系の大学の研究室と連携して実施しています。

マンツーマン対応でデザインの工程を体験・習得でき、社外から斬新な発想を取り込むことが可能な点が特徴となっています。

これまで計40社以上が受講し、20社以上の商品が展示会出展、及び商品化に繋がっています。

実績など

【開催時期・期間】

毎年5月~翌年2月
1社当たりの講座回数: 約5回×2時間

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

人材育成(つづき)

熱処理技術者育成講座

機械電子研究所

主催

(一社)日本熱処理技術協会九州支部
九州金属熱処理工業会
機械電子研究所



問い合わせ先
機械電子研究所 材料技術課

電話番号:093-691-0231

講座概要

金属熱処理に関する技術者の育成を目的に、基礎教育セミナー、技能検定準備講習会等を開催しています。

- ・基礎教育セミナー:材料の製造法、熱処理、材料組織、機械的性質等についてのセミナー
- ・金属熱処理技能検定準備講習会:学科及び実技試験対策

実績など

【開催時期・期間】

基礎教育セミナー:毎年10月・3日

準備講習会:毎年7月・2日

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

基礎教育セミナー:実習3名、講義31名

金属熱処理技能検定準備講習会:延べ52名

表面技術人材育成セミナー

機械電子研究所

主催

機械電子研究所
(一社)表面技術協会九州支部
(公社)腐食防食学会九州支部



問い合わせ先
機械電子研究所 材料技術課

電話番号:093-691-0231

講座概要

金属表面分野に関する技術者の育成を目的に、分析・評価技術に関する講演会、めっき技術研修会(講義と実習)、腐食防食技術普及会(座学)等を開催しています。

- ・分析・評価技術に関する講演会:SEM、EDX、XRFなど
- ・めっき技術研修会:めっき膜の機器分析実習
- ・腐食防食技術普及会:腐食防食の基礎、評価方法
- ・マンツーマン機器分析実習

実績など

【開催時期・期間】

分析・評価技術に関する講演会:1~3回/年

めっき技術研修会:毎年9月・6時間×1日

腐食防食技術普及会:毎年11月・3時間×1日

マンツーマン機器分析実習:1~4回/年

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

めっき技術研修会:5名、腐食防食:25名

人材育成(つづき)

金型技術者育成講座

機械電子研究所

主 催

福岡県金型研究会
(事務局:機械電子研究所 生産技術課)
福岡県工業技術センター



問い合わせ先
機械電子研究所 生産技術課

電話番号:093-691-0231

講座概要

金型関連企業の新規採用者及び初心者の人材育成を目的に、金型設計・製作に関する基礎的な講義と実習を行う「FKKスクール」を開催しています。

- ・対象者:福岡県金型研究会会員企業の新規採用者及び初心者
- ・内容:社会人としての基礎教育、金型の概要、金型の設計・分解・組立、測定器具、切削加工、研削加工、仕上げ等に関する講義と実習、工場見学等

実績など

【開催時期・期間】

4月開催・8日間

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】

6企業 18名(令和6年度 4月9日～18日)

省エネ技術者育成講座

機械電子研究所

主 催

機械電子研究所 機械技術課



問い合わせ先
機械電子研究所 機械技術課

電話番号:093-691-0231

講座概要

省エネルギー機器設計に関する技術力向上を目的に、講義と実習による省エネ技術者育成を行っています。

- ・熱流体可視化に関する講座:工業製品や各種生産設備などの熱流体設計において、必要とされる知識や設計改善の事例について、デモンストレーションを交えながら解説
- ・熱流体解析に関する講座:熱流体解析を用いた省エネルギー機器設計についての講義及び熱流体解析ソフトを用いた実習

実績など

【開催時期・期間】

6月～3月の間に実施

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

熱流体解析に関する講座:5名(4回)

流体騒音に関する講座:15名(1回)

人材育成(つづき)

EMC技術者育成講座

機械電子研究所

主 催

(一財)直轄情報・産業振興協会
 ふくおか電子技術ネットワーク
 (事務局:機械電子研究所 電子技術課)
 (公財)福岡県産業・科学技術振興財団 等



問い合わせ先

機械電子研究所 電子技術課

電話番号:093-691-0231

講座概要

EMC・アンテナ技術者の育成と実践力向上を目的とし座学や実習を行う「福岡EMCスクール」を開催しています。

(令和6年度実施講座)

- ・EMCを志す技術者のための超入門講座(座学)
- ・EMC対策セミナー(座学)
- ・磁界解析入門セミナー(実習)
- ・アンテナ測定実習(座学/実習)

実績など

【開催時期・期間】

7月～3月の間に実施

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

延べ8日、284名

デジタル化推進人材育成講座

機械電子研究所

主 催

機械電子研究所(デジタル化実証支援ラボ:令和3年度開設)
 福岡県工業技術センタークラブ



レーザ技術活用セミナー



IoT関連技術実習セミナー



レーザ加工システム
(溶接・熱処理・肉盛)

講座概要

①CAEを活用した設計、②レーザを活用した試作・製造、③AM・MIM技術を活用した試作・製造、④AI/IoTを活用した製造・生産管理に関して、企業内におけるデジタル化推進の中核となる技術者の育成を目的に、外部講師や職員によるセミナー(座学)や、設備機器を活用したハンズオン形式の実習を開催しています。

<主な講座(令和6年度)>

- ・構造解析ソフトウェア個別体験セミナー
- ・レーザ技術活用セミナー
- ・めっき現場におけるIoT人材育成
- ・金属3Dプリンタ利用講習会
- ・3Dデジタイザー体験セミナー
- ・IoT関連技術実習セミナー

実績など

【開催時期・期間】

通年

【工業技術センターの役割】

企画・運営及び講師

【受講者数】(令和6年度)

延べ601名(33講座の合計)

問い合わせ先
 機械電子研究所
 CAE部会 : 機械技術課
 レーザ部会 : 材料技術課
 AM・MIM部会 : 生産技術課
 AI・IoT部会 : 電子技術課

電話番号:093-691-0231

実用化事例

シリコンへのオンデマンド加飾プロセスの開発

化学繊維研究所

共同研究機関: (株)SING、KIT-CC (株)
活用事業: 久留米市ものづくり支援事業

研究開発に基づく成果



シリコン製マンホールコースター

実用化時期 令和5年度

商品名 インクジェットシリコン製品

実用化企業

株式会社SING

住所: 福岡県太宰府市内山636

電話番号: 092-555-2338

URL: <https://sing-si.co.jp>

従来の課題

シリコンは弾性(割れない)、耐熱性があり、医療器具にも使える安心安全な素材です。しかし、はっ水はっ油(防汚)性があるため、水性インクを用いたインクジェット(IJ)プリントのオンデマンド加飾はできませんでした。

開発内容

工業技術センターが保有する表面処理技術、ゴムや接着の知見、評価技術を駆使してIJプリント性能を高め、インクの耐熱性、シリコン変形によるプリント面の追随性、さらにプリント面の耐擦過性を確保しました。

製品・技術の特徴

写真などのデジタルデータからシリコン素材にIJプリントできるオンデマンド加飾プロセスを確立しました。プリント面の耐擦過性は(株)SINGと共同で実用新案登録を行い、技術の保護も行いました。

極低温でも使用可能な高圧水素用Oリング

化学繊維研究所

共同研究機関: (株)テクノ月星

研究開発に基づく成果



高圧水素用Oリング

実用化時期 令和2年度

商品名 高圧水素用Oリング

実用化企業

株式会社テクノ月星

住所: 福岡県うきは市浮羽町高見215

電話番号: 0943-77-2693 (化成品事業部技術課)

URL: <http://www.techno-tsukihoshi.co.jp/>

従来の課題

水素ステーション等の高圧水素関連設備では、高圧水素特有の厳しい使用環境によりOリング(パッキン)が破損したり漏れたりすることがあり、高い信頼性と耐久性を有するOリングが求められていました。

開発内容

高圧水素に曝露しても体積変化や内部亀裂の発生が起きにくいゴム配合を確立しました。また、ゴム種の検討により、優れた耐摩耗性(耐久性)と耐寒性を付与しました。

製品・技術の特徴

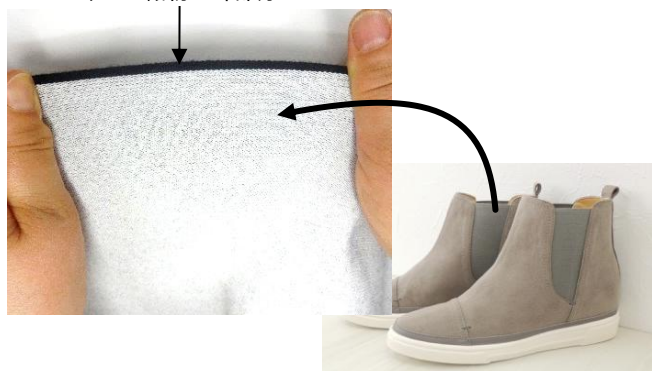
本開発品は優れた耐久性(高圧水素圧力サイクル試験5.3万サイクル達成)と低温特性(-67℃まで使用可能)を持ち、蓄圧器、バルブ、ディスペンサー等のOリングとして使用できます。特にプレクール(冷却)を伴う極低温環境でも問題なく使用できるという利点があります。

耐久性を向上させた靴用甲ゴム織物

化学繊維研究所

技術指導に基づく成果

甲ゴム織物の耳部分



甲ゴム織物(ゴム入り織物)(左)と靴製品での使用例(右)

実用化時期 平成28年度

実用化企業

東洋ゴム織布株式会社

住所: 福岡県久留米市津福本町中津留2320-14

電話番号: 0942-32-8162

URL: <http://www.toyogomu.co.jp/>

企業の課題

靴の繰返し着脱によって甲ゴム織物耳部分(左写真)の伸縮性が消失し、波打つ不具合がありました。このため、製織方法の改良を行いました。これを評価する有効な試験がなく、優位性が確認できませんでした。

センターの取組・支援内容

靴製品における耳部分の動きを参考にして、織物素材で耳部分の動きを再現でき、より多く負荷がかかる試験サンプル形状を考案し、繰返し伸縮試験を実施しました。この結果、半日(数十万回繰返し)程度の試験で波打ちを再現できる耐久促進試験を確立しました。

取組・支援の効果

従来品との比較試験を行い、改良した製織方法の優位性が明らかとなりました。この試験方法と比較結果から、川下企業へ提案を行うことができ、新しい顧客の獲得ができました。また、自社内の品質向上を図ることができました。

無溶剤で使用可能な加硫接着剤フィルム

化学繊維研究所

共同研究機関: 久留米工業高等専門学校、中島ゴム工業(株)
活用事業: 戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省)

研究開発に基づく成果



加硫接着剤フィルム
(保護シート付き)

実用化時期 平成27年度

商品名 ACULAH(アキュラ)

実用化企業

中島ゴム工業株式会社

住所: 福岡県久留米市津福本町上津留2305-10

電話番号: 0942-37-1500

URL: <http://www.nakashima-rubber.co.jp/>

従来の課題

免震ゴムは、金属とゴムを接着し製造されますが、従来のスプレー塗布法では接着剤の歩留りが悪い上に厚みムラの発生や有害ガス(VOC)発生等の課題がありました。

開発内容

製造工程数の削減と作業環境の改善を目的とし、接着剤塗布型フィルムの開発を企業と共同で行いました。接着剤の選定と加工条件の適正化及び接着強度の評価に取り組みました。

製品・技術の特徴

開発した接着剤フィルムは、金属とゴム間に挟み込み加熱することで強力に接着するものです。また本フィルムはVOC量を極限まで削減できるように、作業の直前まで成分が揮発しないよう保護シートで処理されています。

ベルト装着可能な持ち手「motte(モッテ)」

化学繊維研究所

技術指導に基づく成果



二輪車タンデムグリップ (左) motte 黒 (右) motte 赤

福岡デザインアワード2016 入賞

実用化時期 平成28年度

商品名 motte

実用化企業
タンデム

住所: 福岡県福岡市西区下山門4-4-26-307

電話番号: 092-836-5311

URL: <https://www.tandem2015.com/>

企業の課題

「軽量・小型・ファッション性」と「強度」を併せ持つ構造にする必要がありました。

センターの取組・支援内容

実使用で加重がどの方向や場所に集中し、後部同乗者の安全性を支援するための設計について、引張強度試験等により最も負荷のかかる箇所の特定等を通じて、「軽量・小型・ファッション性」と「強度」を併せ持つ製品化支援を行いました。

取組・支援の効果

快適・スマートなタンデムライディング(バイク二人乗り)のための持ち手です。軽量・小型でライダーの腰にフィットし邪魔になりません。

成
果

ゴム・プラスチック

コンクリートひび割れ防止用プラスチックスペーサ

化学繊維研究所

研究開発に基づく成果



プラ・スターG

実用化時期 平成18年度

商品名 プラ・スターG

実用化企業
株式会社中央産業

住所: 福岡県飯塚市大字高田字野間10-2

電話番号: 0948-22-3871

URL: <http://chuosangyo.web.fc2.com/>

従来の課題

コンクリート壁施工時において鉄筋と型枠の間隔を適正に保持できないと、ひび割れ発生等の不良が懸念されます。この間隔を保持するための建築資材開発が課題となっていました。

開発内容

プラスチック材料を用いた鉄筋と型枠間隔を保持する建築資材の開発を目指し、種々の材料及び形状について温度や荷重等の諸条件に対する物理特性評価に取り組みました。

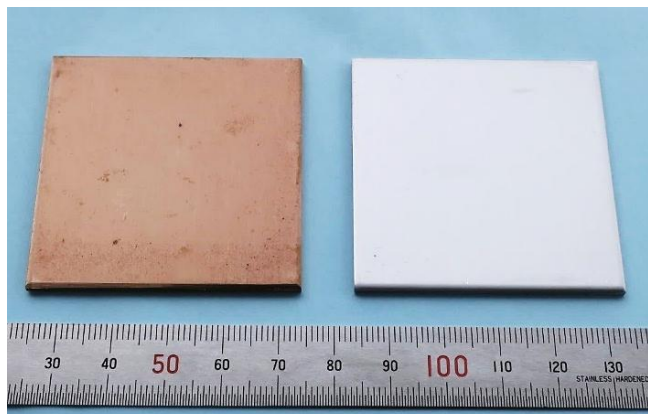
製品・技術の特徴

本製品は、温度荷重によるコンクリートのひび割れを85%以上抑制することができます。実用化企業では、スペーサ材料にほぼ100%リサイクル材料を使用しており、土木工事・建築工事・二次製品等に対応できるサイズ展開をしています。

金属材料のテンパーカラー防止技術

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



従来の熱処理材(左)と改良材(右)

企業の課題

表面が酸化し易い特殊な金属材料の熱処理において、表面にテンパーカラーと呼ばれる着色が発生していました。

センターの取組・支援内容

熱処理行程を見直し、熱処理方法を工夫することで残留酸素の影響を可能な限り低減する方法を提案しました。

取組・支援の効果

表面が酸化し易い特殊な金属材料の熱処理において、テンパーカラーの無い製品を作ることができるようになりました。
※写真の例は板材ですが、様々な形状の部材に適用されます。

実用化時期 令和4年度

実用化企業

高熱炉工業株式会社

住所: 福岡県田川市大字夏吉2667-6

電話番号: 0947-45-6022

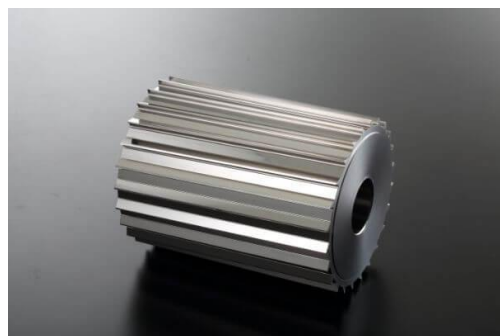
URL: <http://kohnetsuro.com/>

複合表面処理による高耐久金属部品

機械電子研究所

共同研究機関: 東亜精工株式会社

研究開発に基づく成果



ストランドカッター

従来の課題

樹脂プラントで使用される金属部品には、耐食性と耐久性が求められています。近年、樹脂材料の高度化に伴い、金属部品から発生するサビや金属片の混入防止、金属部品の長寿命化は大きな課題でした。

開発内容

従来単独で使用されていた表面処理技術を複数組み合わせ、耐食性、耐久性を両立する金属部品を開発しました。

実用化時期 令和4年度

実用化企業

東亜精工株式会社

住所: 福岡県直方市上頓野4820-4

電話番号: 0949-26-7610

URL: <https://toaseiko.net/>

製品・技術の特徴

複数の表面処理技術を組み合わせた金属部品の特性を把握し、適材適所の金属部品を提供します。また、金属材料の選定、加工、表面処理までを含んだトータルコーディネートを提供します。

耐屈曲性に優れた極細アルミニウム合金導体

機械電子研究所

共同研究機関：大電(株)、熊本大学

研究開発に基づく成果

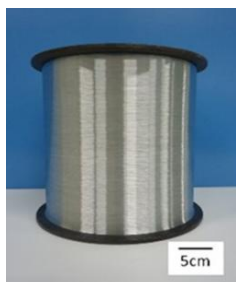


図1 アルミ鉄合金線
ポビン(φ80μm×360km)

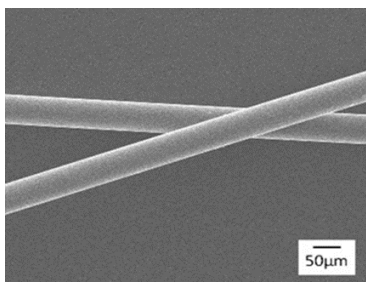


図2 アルミ鉄合金線
(φ50μm)

実用化時期 令和3年度

商品名 アルミニウム合金線材

実用化企業

大電株式会社

住所：福岡県久留米市南二丁目15番1号

電話番号：0942-22-1111

URL：<https://www.dyden.co.jp/>

従来の課題

アルミは軽くて電気を通しやすい性質を有していますが、銅と比べて強度が低いため、伸線加工中に切れやすいこと、アルミに微量の鉄を添加すると強度が高まる一方で、品質コントロールが難しいという課題がありました。

開発内容

独自の成分設計と鑄造技術に取り組み、高い強度と良好な加工性を兼備したアルミ鉄合金の製造とその極細線化技術を確認し、髪の毛よりも細く、長さ360kmにも及ぶアルミ鉄合金線ポビンの作製を実現させました。

製品・技術の特徴

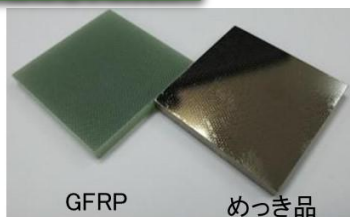
開発したアルミニウム合金線は、極細加工が必要な分野を中心に様々な製品の軽量化に寄与し、さらに省エネルギーにも繋がるのが期待されます。情報・通信分野、医療機器分野、航空宇宙分野、電子部品分野等様々な分野での利用が想定されます。

極限状態に耐える高機能樹脂めっき

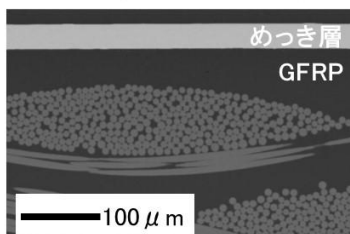
機械電子研究所

共同研究機関：(株)九州電化

研究開発に基づく成果



高機能樹脂めっきの外観



高機能樹脂めっきの断面写真(SEM像)



めっき層の構成

実用化時期 平成30年度

実用化企業

株式会社 九州電化

住所：福岡県福岡市東区社領3丁目4番8号

電話番号：092-611-3461

URL：<http://www.k-denka.co.jp/>

従来の課題

ガラス繊維強化樹脂(GFRP)は樹脂とガラスで構成された複合材料です。GFRPの表面は樹脂とガラスが混在した複雑な構造のため、めっき層との密着性が課題でした。また、GFRP上に欠陥(貫通孔)のないめっき層の形成が困難でした。

開発内容

GFRP表面への最適な前処理方法の開発により、密着性のよいめっき層が形成できました。めっき層に多層構造を採用することで、欠陥がなく均一、柔軟、強固なめっき層の開発に成功しました。

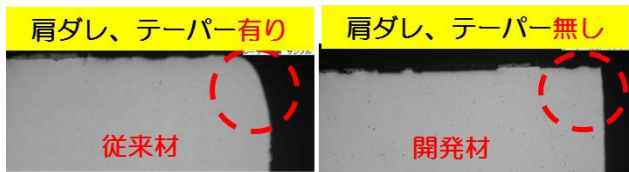
製品・技術の特徴

- ・液体水素温度下(-253℃)に耐え、過酷な温度変化による伸縮にも追従できる柔軟なめっきです。
- ・最表面に強固なNiめっきを採用し、過酷な施行にも耐えられます。
- ・ガスバリア性に優れ、高温、真空環境でも使用できます。
- ・大きさ60cm(W-H-D)、重量250kgまでの部材へ適用できます。
- ・炭素繊維強化樹脂(CFRP)へのめっきも可能です。

レーザ切断性に優れた厚板

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



従来材 ノッチ：4 Ra：5.2

開発材 ノッチ：0 Ra：0.7

開発した厚板SS400と従来材のレーザ切断面の比較

実用化時期 平成28年度

実用化企業

東京製鐵株式会社 九州工場

住所：福岡県北九州市若松区南二島3-5-1

電話番号：093-701-2631

URL：<http://www.tokysteel.co.jp/>

企業の課題

CO₂レーザ発振器の大出力・安定化が進みレーザ切断可能板厚が拡大しつつありますが、厚鋼板のレーザ切断は、不安定な現象が生じやすく加工品質（高精度・低歪）の低下が課題でした。

センターの取組・支援内容

①母材成分適正濃度、②圧延条件（加熱温度、開始・最終圧延温度、圧延時デスケーリング回数と温度）、③加速冷却停止温度を検討しました。

取組・支援の効果

切断面の肩ダレ・テーパーが無く、ノッチ数が4から0に減少し、表面粗さRaが従来品の1/3～1/7に改善され、バーニングが発生しない、従来材よりもレーザ切断性に優れた厚板SS400を開発することができ、一般材として供給する体制が整いました。

マグネシウム合金への化成処理技術

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



マグシャイン処理してクリア塗装した携帯電話ケース試作品

実用化時期 平成24年度

技術の名称

マグネシウム合金用高耐食性化成処理「マグストロング®」
マグネシウム合金用高意匠性化成処理「マグシャイン®」

実用化企業

株式会社正信

住所：福岡県福岡市博多区半道橋2-16-12

電話番号：092-411-2466

URL：<http://homepage3.nifty.com/masanobu-m/>

従来の課題

マグネシウム合金について、自動車部材としても使用可能な耐食性の向上技術、さらに金属質感を生かしたデザインが可能な無色透明の防錆技術の開発が課題でした。

開発内容

化成処理剤の組成開発ならびに処理条件の最適化を行いました。

製品・技術の特徴

高耐食性化成処理は車載部品に採用されています。また、高意匠性化成処理については家電製品をはじめ多くの試作依頼がきています。

シェーバー用新型内刃 ドラムレーザー刃

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



ドラムレーザー刃と搭載シェーバー

実用化時期 平成22年度

商品名 ロータリージースード

実用化企業

日立マクセル株式会社 ライフソリューション事業本部

住所：福岡県田川郡福智町伊方4680番地
電話番号：0947-22-0585

企業の課題

切れ味および耐食性に優れたシェーバー用内刃を開発するにあたり、発錆とスプリングバックにより形状が維持できないという課題がありました。

センターの取組・支援内容

製造工程（熱処理、塑性加工、溶接）の総合的な調査・検討ならびに、外観やマイクロ組織観察等から、製造工程に原因があると指摘し、ステンレス鋼素材の特性を考慮した製造工程に改善するよう提案しました。

取組・支援の効果

耐食性とスプリングバックが同時に改善され、開発したカミソリ刃は、(株)日立製作所から世界初となるドラムレーザー刃を搭載したシェーバーとして実用化されました。ドラムレーザー刃とは、開孔刃付きプレートを円筒状にし、回転する刃のことです。

高窒素ステンレス鋼ワイヤーの連続製造装置

機械電子研究所

共同研究機関：安田工業(株)、九州大学

研究開発に基づく成果



線材の連続固相窒素吸収処理装置（左：外観、右：内部、製造品）

第20回りそな中小企業優秀新技術・新製品賞
優良賞、産学官連携特別賞

実用化時期 平成22年度

実用化企業

安田工業株式会社

住所：福岡県北九州市八幡東区枝光2-7-7
電話番号：093-662-6525
URL：<http://www.ysd-kk.co.jp/>

従来の課題

高濃度の窒素を鋼に添加する方法として、窒素ガス雰囲気下での加圧溶解法（溶解鑄造）や固相窒素吸収法（熱処理）が提案されていますが、いずれも生産性（設備や製造コスト）に大きな課題がありました。

開発内容

①生産性に優れ、②省スペースで、③高品質な高窒素ステンレス鋼ワイヤーを製造できるシステムを基本構想とし、北九州市や国の補助金を活用して産学官で共同研究を実施し、独自機構（多溝ロール等）を取り入れた製造装置を開発しました。

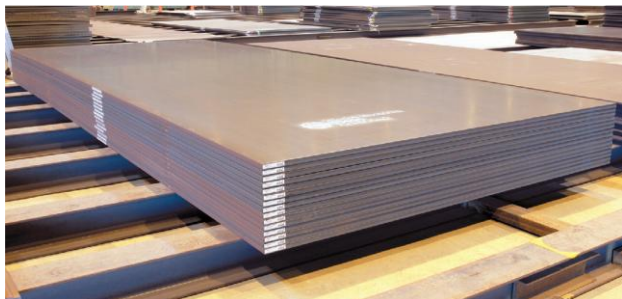
製品・技術の特徴

ラポレベルに留まっていた固相窒素吸収法による高窒素ステンレス鋼の製造が、連続的かつ安定した品質で実現可能となりました。開発した装置では、例えば市販SUS304線材等をベースとして、種々の窒素濃度で強度レベルの小ロット製造に対応可能です。

超高層ビル柱用の溶接部の靱性に優れた厚板

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



開発した厚板SN490C

企業の課題

超高層ビルの柱(溶接四面ボックス)に適用される鋼板には、大入熱溶接部で衝撃値47J以上が要求されます。そのため、溶接入熱の活用と添加合金元素の最適化による金属組織微細化技術の確立が課題でした。

センターの取組・支援内容

大入熱溶接部の金属組織が微細結晶粒組織になる厚板を開発するため、①合金添加元素の種類・添加量、②合金添加元素の添加の順番・タイミング、③ casting 条件、④ 圧延条件について検討を行いました。

取組・支援の効果

開発した合金を用いて大手ゼネコン3社によるエレクトロスラグ溶接試験を実施し、要求性能である衝撃値を47J以上に向上できていることを確認しました。これにより高強度(490Nクラス)の厚板鋼板を製品化することができました。

実用化時期 平成21年度

実用化企業

東京製鉄株式会社 九州工場

住所: 福岡県北九州市若松区南二島3-5-1

電話番号: 093-701-2631

URL: <http://www.tokysteel.co.jp/>

高寸法精度イブシ瓦製内装用壁建材

化学繊維研究所

共同研究機関: 洪田瓦工場、九州産業大学

研究開発に基づく成果

城島瓦 小葦



小葦施工イメージ(目地なし施工)

従来の課題

城島瓦産業活性化のためには、伝統産業と建材市場両方のニーズにマッチする、「目地なし施工可能な瓦製壁建材(寸法精度 $\pm 1\text{mm}$ (従来の $1/4$))」の開発が求められています。

開発内容

押出し成形法の改良により製品の寸法精度の飛躍的な向上に成功しました。また、瓦製品の新たな製造法として鑄込み成形技術を確立しました。

製品・技術の特徴

城島瓦が持つ美しい銀色、職人の手作りによる本物が持つ高級感・プレミア感と目地なし施工が可能な高い寸法精度を併せ持つ、イブシ瓦製内装用壁建材です。薄物、中空体、凹凸、テーパー状等、特殊形状への対応も可能です。

実用化時期 令和5年度

商品名 小葦-こいらか-

実用化企業

洪田瓦工場

住所: 福岡県久留米市城島町檜津

電話番号: 0942-62-3324

URL: <https://www.joujima-kawara.com/>

陶器スピーカー「ブレス」

化学繊維研究所

共同研究機関：九州大学、(有)鬼丸雪山窯元

研究開発に基づく成果



陶器スピーカー「ブレス」

実用化時期

平成30年度

商品名

陶器スピーカー「ブレス」

実用化企業

有限会社鬼丸雪山窯元

住所：福岡県朝倉郡東峰村大字小石原962-1

電話番号：0946-74-2810

URL：<http://takatoriyaki.com/ja/>

従来の課題

高取焼には食器以外の用途展開が課題でした。そこで高取焼の技法を生かし、芸術性・審美性に優れた陶器製スピーカーの開発に取り組みました。

開発内容

比較的大型であることから、焼成時に割れてしまうことがよくありました。そこで、製品に直接火が当たらないように薪窯の構造を改良することで、製品割れの発生率が下がり、焼成後の変形も低減できるようになりました。

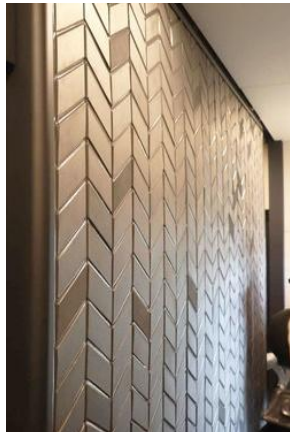
製品・技術の特徴

機能性(高音質)と、芸術性・審美性(高取焼伝統の技を活かした芸術品)を兼ね備えたスピーカーであり、特に高音が美しいと言われています。

内装用薄物いぶし瓦壁建材

化学繊維研究所

技術指導に基づく成果



観光列車内装に施工された城島瓦壁建材

実用化時期

平成30年度

商品名

薄物いぶし瓦壁建材

実用化企業

城島瓦組合

住所：福岡県久留米市玉満2779-1三猪総合支所 2F

電話番号：0942-64-3649

URL：<https://www.joujima-kawara.com/>

企業の課題

西日本鉄道(株)が、平成31年春に運行開始した本格的観光列車の内装材として、城島瓦のいぶし建材が選ばれました。車両用に、軽量で、いぶし銀を主体とした多色の新たな壁建材の開発が必要になりました。

センターの取組・支援内容

城島瓦は主に押出法で成形されるため、厚みが薄くなる程、反りや変形が大きくなります。そこで口金形状や切出し方向を検討し、従来品の1/3の厚さ相当の軽量な壁材を実現しました。また、焼成条件について系統的な検討を行い、いぶし銀色を呈する炭素膜の状態を制御し、釉薬を使わずに瓦建材の多色化を可能としました。

取組・支援の効果

伝統的な産業製品が企画・工夫・試行により、従来の厚物瓦製品だけではなく、新規製品の展開可能性が確認できました。この取組をもとに、さらに薄い製品へと技術向上を図り、建材以外の新規展開にも繋がっています。

デザイン敷瓦製造の低コスト成型加工技術

化学繊維研究所

研究開発に基づく成果



壁面用サイン製品

従来の課題

従来、敷瓦のデザイン加工には鋼製の金型を使用しています。この金型は外部に作成を依頼するためコストが高く、少量多品種の生産には向かないという課題がありました。

開発内容

プラスチック系素材をレーザー加工したプレス型製造方法を検討しました。結果、低コストでかつ、小規模工場で少量多品種生産に対応可能なデザイン敷瓦製造プロセスを開発しました。

製品・技術の特徴

この技術を利用した新企画商品としてサイン用部材を商品化しました。

実用化時期 平成24年度

実用化企業

城島瓦組合

住所：福岡県久留米市玉満2779-1 三瀬総合支所 2F

電話番号：0942-64-3649

URL：<https://www.joujima-kawara.com/>

チタン酸バリウムナノ粒子分散液

化学繊維研究所

活用事業：産業技術研究助成事業（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

研究開発に基づく成果



チタン酸バリウムナノ粒子分散溶液

従来の課題

各種電子デバイスの原材料であるチタン酸バリウムの粒子サイズは微細なものでも100～200nmです。一方、今後の同デバイス小型化に伴う原材料のナノサイズ化が課題となっていました。

開発内容

高濃度ゾルゲル法に着目し、その処理工程や処理条件を確立することで、チタン酸バリウムの10～30nmの超微細粒子分散溶液の開発に成功しました。

製品・技術の特徴

開発品は各種電子デバイスや各種光学部材への用途展開が期待できます。技術移転企業にて製品化されました。

実用化時期 平成20年度

実用化企業

日揮触媒化成株式会社

住所：福岡県北九州市若松区北湊町13番2号

電話番号：093-751-1531

URL：<http://www.jgccc.com/>

介護に係る現場での洗える防臭インナーマスク(鼻マスク)

化学繊維研究所

共同研究機関：(株)博有
活用事業：ふくおかIST プロジェクト化研究会

研究開発に基づく成果

鼻マスク：正面、側面



(インナーマスク装着)



(不織布マスクと併用)

実用化時期 令和5年度

商品名 防臭インナーマスク(鼻マスク 意匠登録1787790)

実用化企業

株式会社博有

住所：福岡県直方市大字植木849番地1ADOX別館

電話番号：0949-28-7428

URL：<https://haku-yu.com/>

従来の課題

介護現場で、オムツ交換、人工肛門のパック交換、尿パックの交換等、排泄物臭や体臭の混ざった悪臭は、日々の業務ストレスとなります。要介護者に臭い対策と、わからないように対策を行なう必要がありました。

開発内容

不織布マスクと重ねて装着し、会話によるマスクズレ、息苦しさ、蒸し暑さを軽減したインナーマスクを考案しました。首の後ろの調整で鼻背周辺の密着と、不織布マスクを被せることにより鼻柱周辺の密着を向上させました。

製品・技術の特徴

消臭性能は、煮沸洗浄を繰り返してもアンモニア吸着機能が保持されていること、JIST9001一般用マスクの性能要件(圧力損失、遊離ホルムアルデヒド、蛍光)を満たしていること、医療マスク単体で使用するよりインナーマスクと重ねて着用の方が快適となるという結果が得られました。

臭気対策用布マスク(ケミカルファブリック-働く人のためのマスク)

化学繊維研究所

活用事業：宗像市がんばる中小企業者応援補助金

研究開発に基づく成果



ケミカルファブリック-働く人のためのマスク

実用化時期 令和4年度

商品名 ケミカルファブリック-働く人のためのマスク

実用化企業

有限会社明光メディカル

住所：福岡県宗像市自由ヶ丘南2丁目1-8

電話番号：0940-34-4022

URL：<https://meikomedical.com/shop.html>

従来の課題

医療従事者は、解剖、病理検査、標本作製等の作業を行う際、許容濃度を超えたホルムアルデヒド臭気さらされています。しかし、従来の医療用マスクでは十分に臭気を防げない課題がありました。

開発内容

(有)明光メディカルと(株)博有は消臭機能があるフィルターなどで構成された布マスクを共同開発しました。布マスクの性能として、ホルムアルデヒド消臭効果、および圧力損失を調べました。

製品・技術の特徴

開発した臭気対策用布マスクは、医療作業中のホルムアルデヒドを1分後で80%消臭する性能があります。さらに、JISに規定されている医療用マスクの品質基準である圧力損失(60Pa/cm²未満)も満たしています。

正しいマスク

化学繊維研究所

技術指導に基づく成果



正しいマスク

実用化時期 令和3年度

商品名

正しいマスク

実用化企業

CROSSEED株式会社

住所: 福岡県飯塚市幸袋172-18 飯塚リサーチパーク

電話番号: 0948-29-1761

URL: <https://crosseed.co.jp>

企業の課題

利用者がマスクを「長時間着用しても快適に過ごせる」ことを目標に開発しましたが、それをどのように評価すればよいか定まっていなかった。

センターの取組・支援内容

着用快適性に関する要因と考えられる口元空間の保持性能と形状記憶性能について検討しました。口元空間の保持性能は着用時形状の圧縮強さを、形状記憶性能は荷重をかけた後の形状の戻り量を指標として評価を行いました。

取組・支援の効果

従来製品と比較試験を行い、空間保持性能及び形状記憶性能について優位性が明らかになりました。

藍染色装置製作による染色加工量産化

化学繊維研究所

研究開発に基づく成果



染色した糸



藍染色装置

実用化時期 平成26年度

実用化企業

筑後染織協同組合

住所: 福岡県筑後市大字久富字北田70

電話番号: 0942-53-5136

URL: <http://www.chikugosennshoku.com/>

従来の課題

天然藍を使用した染色は、和のテイストや素朴さを求める消費者に好まれ付加価値が高い反面、染色工程が複雑で量産化には向かないという課題がありました。

開発内容

筑後染織協同組合が藍染色合理化のために機械による一部工程の自動化を行い、化学繊維研究所では、染色条件検討から染色糸や布の染色堅牢度試験に取り組み、合成藍染料と同等品質であることを確認しました。

製品・技術の特徴

藍染色を一部自動化することにより、染色加工量が1日当たり11倍以上、生産性が約25倍になりました。

特殊防水シート「マジカルカバー」

化学繊維研究所

技術指導に基づく成果



マジカルカバー

実用化時期 平成22年度 商品名 マジカルカバー

実用化企業

池田設計・企画

住所：福岡県筑紫野市美しが丘南3丁目9-15

電話番号：092-924-7686

URL：http://www.ikeda-sekkei.com/

企業の課題

シートの性能として、通気性、透湿性、紫外線遮蔽効果及び防水性を数値化したいと相談がありました。

センターの取組・支援内容

シートの性能を数値化し、通気性、透湿性、紫外線遮蔽効果及び防水性に優れていることが分かりました。

取組・支援の効果

干した洗濯物に被せても通気性が高く、雨や花粉から洗濯物を守る「マジカルカバー」として商品を販売しています。

洗濯や摩擦で色移りしない高品質の久留米絣製品

化学繊維研究所

共同研究機関：(株)オカモト商店、(有)坂田織物、野村織物(有)
下川織物、山村かすり工房

研究開発に基づく成果



新たな染色技術による試作品と製品

第6回ものづくり日本大賞 伝統技術の応用部門
経済産業大臣賞 受賞

実用化時期 平成21年度

実用化企業

株式会社オカモト商店

住所：福岡県久留米市日吉町12-12

電話番号：0942-32-6579

URL：http://okamotoshoten.co.jp/

従来の課題

従来の久留米絣の染色技術では、染料の規制、色移り、色落ちの課題がありました。

開発内容

新たな染色技術の開発により、濃色でコントラストが鮮明、洗濯による色落ちや色移りのない高品質な絣を実現しました。

製品・技術の特徴

多彩な色の表現が可能となり、洋装や雑貨など新規需要を開拓でき、規制をクリアし海外でも販売を開始しました。

成
果

織
維

使用感をデータ化したクロス商品

化学繊維研究所

技術指導に基づく成果



ヌーボー・スプューナー

実用化時期 平成15年度

商品名 ヌーボー・スプューナー

実用化企業

株式会社インクス

住所: 福岡県久留米市荒木町白口1967-5

電話番号: 0942-27-2750

URL: <http://in-x.jp/>

企業の課題

「使い心地がよく」、「水洗いしやすい」との消費者ニーズを商品の拡販に生かしたいと考えました。しかし、消費者に伝えるデータの測定方法が分からず、結果の考察もできていませんでした。

センターの取組・支援内容

お客様から得た使用感等をもとに、客観的データを取得するための試験方法、結果から考察されるメカニズム等を提案しました。また、消費者に分かりやすいプレゼンテーションも助言しました。

取組・支援の効果

商品の特徴を、具体的なデータで示し、理論的に説明、解説できるようになりました。このため、商品を手に取ることができないテレビ等のメディアを通した販路でも、宣伝できるようになり、現在、拡販を進めています。

センダン材で香味付けしたお酒「WWW」

インテリア研究所

共同研究機関: 植木林業(株)、西吉田酒造(株)

研究開発に基づく成果



WWW(ウェルカム)



実用化時期 令和6年度

商品名 WWW(現在は、商品名「木香」、ブランド名: WWW)

実用化企業

植木林業株式会社

住所: 福岡県柳川市西浜武1007-1

電話番号: 0944-88-8122

URL: <https://uekiringyo.com>

従来の課題

国産早生樹「センダン」は成長が早く家具材として利用が進められています。一方、自生するセンダンは幹の分岐が多く、家具材として利用できる部分が少ないため、未利用材の有効活用が求められていました。

開発内容

未利用センダン材の有効活用先として酒の熟成に木樽が使われる事に着目し、酒の香味付けに適したセンダン材加熱処理条件の確立や商品デザイン(ブランディング、ネーミング、ラベルデザイン)に取り組みました。

製品・技術の特徴

世界初となる国産早生樹「センダン」で香味付けした酒です。また、福岡県産の農林水産物を使用した地産地消の推進に対する貢献等が評価され、「福岡県ワンヘルス認証」を取得しました。

清酒酵母を使用した香り豊かなクラフトビール

生物食品研究所

共同研究機関：合同会社ギャランドゥ

研究開発に基づく成果



開発した「酒麦(しゅばく)エール」

Japan Great Beer Awards 2025 銅賞受賞

実用化時期 令和6年度

商品名 酒麦(しゅばく)エール

実用化企業

合同会社ギャランドゥ

住所：福岡県久留米市螢川町59-1

電話番号：080-3908-9497

URL：<https://toyfull.beer/>

従来の課題

従来のビールにはない特徴を持たせるために、清酒酵母を使用したクラフトビールの開発を行いました。しかし、従来の清酒酵母はビール中に含まれる主糖(マルトース)を資化出来ないこと、特徴香として豊富に吟醸香を生成出来なかったことが課題でした。

開発内容

ビール中に含まれる二糖(マルトース)を清酒酵母が生育に必要な単糖(グルコース)に分解する酵素剤の使用や、一般的な吟醸酵母と比べて2倍以上の吟醸香を生成する酵母を育種し、課題を解決しました。

製品・技術の特徴

実用化に成功した「酒麦エール」は、ホップ由来のシトラス様の香りと清酒酵母が生成する熟した果実様の香り特徴とするクラフトビールです。

乳酸発酵あまおうピューレと発酵ジャムの開発

生物食品研究所

技術指導に基づく成果



乳酸発酵あまおうピューレを使用した「発酵ジャムあまおう®」

実用化時期 令和5年度

商品名 発酵ジャムあまおう®

実用化企業

タカ食品工業株式会社

住所：福岡県みやま市瀬高町小川1189-1

電話番号：0944-62-2161

URL：<https://www.takafoods.co.jp/>

企業の課題

いちごピューレを乳酸発酵することで風味を改善し、特徴ある製品の開発を目指していましたが、自社に乳酸発酵試験を行う体制がありませんでした。

センターの取組・支援内容

発酵に使う乳酸菌の選定と、「あまおうピューレ」を「あまおう由来乳酸菌」で発酵させるための適切な条件の検討を支援しました。発酵の経過は、菌数と乳酸の生産量を指標として確認しました。

取組・支援の効果

発酵条件を検討し、あまおうピューレ1gあたり1億個以上の乳酸菌と適度な乳酸を含む、「乳酸発酵あまおうピューレ」の開発に成功しました。この発酵ピューレを原料として、まろやかな酸味とコクのある味が特徴の発酵ジャムが開発されました。

成
果

食
品
・
バ
イ
オ

味わいに優れた低アルコール清酒の開発

生物食品研究所

共同研究機関: 七曜酒造株式会社

研究開発に基づく成果



低アルコール清酒「ゆうま」

実用化時期 令和4年度

商品名 ゆうま

実用化企業

七曜酒造株式会社

住所: 福岡県遠賀郡岡垣町大字内浦715

電話番号: 093-482-9022

URL: <https://shichiyosyuzo.jp/>

従来の課題

後味のキレに優れた酸味配合と、甘味成分を豊富に含む低アルコール清酒を目標として開発をスタートさせました。しかし、従来の低アルコール清酒では、加水により呈味性が低減するため、新規製造方法を確立させることが課題でした。

開発内容

そこで当所では、酸味配合を整える発酵技術や甘味補填技術の開発に取り組みました。七曜酒造はそれらの技術を応用し、味わいに優れた低アルコール清酒の開発に成功しました。

製品・技術の特徴

後味のキレと甘酸味のある低アルコール清酒です。また、発泡性を有している生酒のためフレッシュ感があり、低アルコールながら「鮮烈で爽やかな」飲み口です。幅広い清酒ユーザーに支持されています。

長期保存可能な「飯場たけのこの水煮」

生物食品研究所

技術指導に基づく成果



飯場たけのこの水煮

実用化時期 令和4年度

商品名 飯場たけのこの水煮

実用化企業

バンブーさわらの郷 合同会社

住所: 福岡県福岡市早良区曲淵521

電話番号: 092-884-3686

URL: <https://bamboosawara.official.ec/>

企業の課題

たけのこは3~5月に収穫期を迎え、日持ち向上のため水煮に加工されます。しかし、加工後2~3日頃から変敗が発生し長期保存に耐えられず、歩留まりの低さが課題でした。

センターの取組・支援内容

調査の結果、変敗原因は微生物に起因すると考えられたため、微生物の調査や製造環境の微生物対策等、衛生管理指導を行いました。加えて、保存液であるクエン酸溶液の濃度や包装についても技術指導を行いました。

取組・支援の効果

支援の結果、微生物対策やクエン酸溶液濃度、包装が改善されたことで、水煮たけのこの変敗が大幅に抑制され、長期保存が可能となり、歩留まりが向上しました。さらに、保存性が向上したことにより水煮たけのこを使った様々な二次加工食品の開発にも繋がりました。

日持ち性を向上させた米粉焼きドーナツ

生物食品研究所



実用化時期 令和4年度

商品名 もぐもぐぽけっとドーナツ

実用化企業

もぐもぐぽけっと株式会社

住所：福岡県宗像市日の里5-3-98 ひのさと48-304

電話番号：0940-26-2710

URL：<https://mogmogpocket.com/>

研究開発に基づく成果

従来の課題

製造拠点を移転し、製造を再開した直後から製品の品質が安定しませんでした。大手量販店への納入や通販への対応のためには製品の安定化と賞味期限の延長が課題でした。

開発内容

製造環境の調査と改善を行うと同時に、品質保持剤の検討とともに包装材の最適化を行い、保存性や味など品質に対する影響の検証を行いました。

製品・技術の特徴

製造環境の改善による製造後の製品に混入する菌数の低減、および包装材と品質保持剤の変更による混入菌の増殖抑制効果により添加物などを加えることなく賞味期限を延長(2週間→2か月)し、販路の拡大につながりました。

おいしさ長持ち草木饅頭

生物食品研究所



脱酸素剤封入包装の草木饅頭

実用化時期 令和4年度

商品名 草木饅頭(脱酸素剤封入包装品)

実用化企業

有限会社 江口栄商店

住所：福岡県大牟田市草木1020-1

電話番号：0944-52-4829

URL：<http://www.eguchi-sakae.com/>

研究開発に基づく成果

従来の課題

コロナ禍により全国発送に対する顧客からの要望が高まっていたものの、従来の消費期限3日では遠方地域への発送が困難であり、全国発送に対応できない課題がありました。

開発内容

各種鮮度保持剤が草木饅頭の保存性や嗜好性に与える影響を多面的に評価し、最適な賞味期限延長技術を検討しました。

製品・技術の特徴

脱酸素剤封入包装により、従来製法や配合を変えることなく、おいしさはそのままに、消費期限3日を賞味期限8日に延長することに成功しました。その結果、全国発送が可能となり販路拡大につながっています。

椎茸で日本初の機能性表示食品

生物食品研究所

研究開発に基づく成果



実用化時期 令和3年度

商品名 すぐもどる椎茸プラス

実用化企業

兼貞物産株式会社

住所：福岡県久留米市御井朝妻1-5-23

電話番号：0942-43-1471

URL：https://www.kanesada.co.jp/

従来の課題

椎茸は健康に良いというイメージはありますが、科学的根拠は十分ではありませんでした。そこで、自信を持って健康に良いとお勧めできる機能性表示商品を開発するには、機能性成分の高含有化が課題でした。

開発内容

椎茸そのものに含まれる成分をうまく活用することで、添加物を使用することなく、血圧上昇抑制作用を有する成分γ-アミノ酪酸(GABA)含有量を10倍以上に高める技術を開発しました。

製品・技術の特徴

添加物を使用しないGABA富化技術で開発した日本初の乾燥椎茸の機能性表示食品(高めの血圧を低下させる)です。スライス形状で水戻し15分、手軽に料理に使えて体に良い食品です。

機能性表示食品「ジンジャーシロップ金姜柑」

生物食品研究所

研究開発に基づく成果



機能性表示食品「ジンジャーシロップ金姜柑」

実用化時期 令和3年度

商品名 ジンジャーシロップ金姜柑

実用化企業

株式会社アガペファーム

住所：福岡県朝倉郡筑前町四三嶋206-1

電話番号：0946-42-8058

URL：https://www.agapefarm.jp

従来の課題

新規事業として始まった「ジンジャーシロップの製造事業」の支援に取り組み、製造方法についての助言などを行ってきました。今回新たに機能性表示食品としてのジンジャーシロップの開発が始まりました。

開発内容

生姜中の機能性成分として知られる「6-ショウガオール」および「6-ジンゲロール」を分析し、ジンジャーシロップ製造過程および試作品中に含まれる成分量について検討しました。

製品・技術の特徴

令和3年9月に消費者庁への届出が完了し、手足の冷えが気になる方向けの機能性表示食品「気温や室温が低い際に、末梢部位の体温を維持する」ジンジャーシロップ金姜柑として販売されています。

九州産オリーブ葉を用いた加工食品

生物食品研究所

技術指導に基づく成果



(左から)オリーブ和紅茶、スパイシーオリーブカレー、オリーブスパイス、ベジタブルオリーブカレー、オリーブ葉パウダー

実用化時期 平成27年度～令和3年度

実用化企業

株式会社オリーブアカデミー

住所: 福岡県久留米市野中町947-17

電話番号: 0942-27-7413

URL: <https://oliveacademy.co.jp/>

企業の課題

オリーブ葉の成分・色・味等の特長を活かした商品開発のためには、加工前後での特長の把握が課題でした。

センターの取組・支援内容

オリーブ特長成分の分析・加工食品試作・検証を行い、オリーブ葉の色と特長成分を保持した商品開発を支援しました。

取組・支援の効果

オリーブ葉の色・香り・味を感じる粉末を配合した様々な加工食品の商品化につながりました。

フリーズドライ醤油粉末を使った調味料「塩粉しょうゆ」

生物食品研究所

技術指導に基づく成果



実用化時期 令和元年度

商品名

塩粉しょうゆ

実用化企業

大久醤油株式会社

住所: 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東6-14-12

電話番号: 092-938-2010

URL: <http://daikyu-shoyu.net/index.html>

企業の課題

新たな調味料開発のため、醤油の粉末化について相談がありました。

センターの取組・支援内容

醤油を粉末化するために、粉末化の方法(噴霧乾燥、真空凍結乾燥)および必要な賦形剤(種類や量)を検討しました。また、粉末として求める品質を得るための加工条件、より加工時間を短くする方法などを検討しました。

取組・支援の効果

色や風味のバランスを保った醤油の粉末化に成功し、粉末醤油を使った調味料「塩粉しょうゆ」が本社店舗や小売店にて販売されています。

成
果

食
品
・
バ
イ
オ

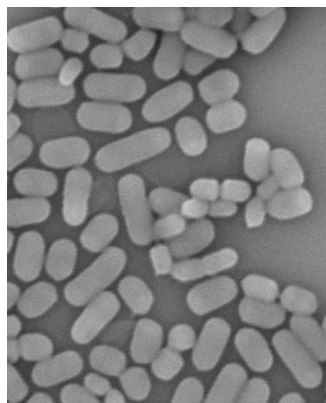
あまおう由来の乳酸菌「王様いちごの乳酸菌」

生物食品研究所

技術指導に基づく成果



商品パンフレット



乳酸菌の電子顕微鏡写真

実用化時期 平成30年度

商品名 王様いちごの乳酸菌

実用化企業

大石化成株式会社

住所: 福岡県久留米市東合川2丁目3番52号

電話番号: 0942-44-7311

URL: <http://www.oisikasei.co.jp/>

企業の課題

地域食材から新規乳酸菌を分離して、健康食品材料として製品化したいとの要望がありました。

センターの取組・支援内容

福岡県産いちご「あまおう」から乳酸菌を分離し、菌種の同定を行いました。分離菌株は *Lactobacillus plantarum* AMAOU (ラクトバチルス プランタラム アマオウ) と名付け、その保存方法の検討を行いました。

取組・支援の効果

あまおう由来の乳酸菌は「王様いちごの乳酸菌」の製品名で加工原料として販売されています。この乳酸菌はサプリメント、乳酸菌飲料、菓子などの商品に利用されています。

福岡オリジナル吟醸酒

生物食品研究所

研究開発に基づく成果



福岡オリジナル吟醸酒

実用化時期 平成19年度

実用化企業

合資会社若竹屋酒造場 0943-72-2175

株式会社みいの寿 0942-77-0019

合名会社山口酒造場 0942-78-2008

従来の課題

福岡県は最盛期には約120の蔵元があり有数の酒どころと言われていましたが、その後地位を下げっており、シェアの回復に取り組むことが望まれていました。

開発内容

特徴のある福岡県独自の清酒用酵母を開発し他県産清酒との差別化を図ることを考え、華やかな香りであるカプロン酸エチルと爽やかな酸味を示すリンゴ酸の両方を多く生産する酵母の開発に取り組みました。

製品・技術の特徴

開発した酵母を用い、華やかな香りと爽やかな酸味を示す今までにないタイプの吟醸酒・純米吟醸酒を商品化でき、各社の売上増につながっています。

間葉系幹細胞用自動培養装置

生物食品研究所

活用事業：戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）

研究開発に基づく成果



間葉系幹細胞用自動培養装置「CELLA i4.0」

実用化時期 令和5年度

商品名 CELLA i4.0

実用化企業

株式会社アステック

住所：福岡県糟屋郡志免町南里4丁目6番15号

電話番号：092-935-5585

URL：<https://www.astec-bio.com/>

従来の課題

再生医療に必要な細胞である間葉系幹細胞を、高品質かつ大量に増やすための培養技術が求められています。しかし人による判断と作業をベースにした既存の技術では、細胞の品質管理や安全性等に課題がありました。

開発内容

装置で培養した後の間葉系幹細胞を対象に、細胞の未分化性や分化能力に着目した細胞の品質評価を行いました。評価結果に基づく各要素技術の開発支援により、新たな自動培養装置を開発しました。

製品・技術の特徴

- ・細胞品質管理機能：AI管理ソフトにより、培養中の細胞の画像から細胞の品質管理や増殖予測が可能です。
- ・培養環境制御機能：独自開発の大量培養容器と培養システムにより安定に培養環境を制御し、完全閉鎖系で細胞播種から細胞回収までの自動化を実現しました。

アカモクエキス入り洗顔料（クレンジングバーム）

生物食品研究所

共同研究機関：佳秀工業（株）、（株）マサエイ水産加工

活用事業：令和2-3年度（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター研究会

研究開発に基づく成果



クレンジングバーム「koi/awai」（こい・あわい）

実用化時期 令和4年度

商品名 クレンジングバーム「koi/awai」（こい・あわい）

実用化企業

佳秀工業株式会社 ヘルスケア事業部

住所：福岡県北九州市若松区南二島2-5-3

電話番号：093-701-1021

URL：<https://series.koiawai.com/>

従来の課題

アカモクはフコイダンやフコキサンチン等が豊富に含まれている食用の海藻です。しかしながら、軸の硬い部分や色の悪い部分は商品価値が低いため廃棄されており、これら未利用部分の有効活用が課題でした。

開発内容

未利用の部分からアカモクエキスを抽出する技術を開発し、各種生理活性評価（ヒアルロニダーゼ阻害活性、チロシナーゼ阻害活性、SOD様活性、細胞増殖効果）を行って製品開発を支援しました。

製品・技術の特徴

ヒトパッチテストにより安全性を確認し、医薬部外品原料規格「海藻エキス（1）」に適合したアカモクエキスを含有する化粧品です。

成
果

食
品
・
バ
イ
オ

試験片用バイオフィルム形成能測定キット

生物食品研究所

共同研究機関：(有)佐野商会、(株)同仁化学研究所

研究開発に基づく成果



試験片用バイオフィルム形成能測定キット

実用化時期 令和3年度

商品名 試験片用バイオフィルム形成能測定キット
Biofilm TestPiece Assay Kit

実用化企業 (TestPiece Holder製造)

有限会社佐野商会

住所：福岡県福岡市中央区地行1-11-36

電話番号：092-741-8192

URL：https://www.sanosyoukai.com/

従来の課題

従来の試験片に対するバイオフィルム形成能評価は、試験片をマイクロプレートなどの容器底へ設置して測定しますが、操作性や再現性に劣る問題がありました。

開発内容

複数の試験片をマイクロプレートのフタへ設置可能なTestPiece Holderを独自開発し、試験片専用のバイオフィルム形成能測定キットとして製品化しました。

製品・技術の特徴

Holderを移動させるだけで一連の操作が格段に省力化されました。また、操作ミスによるバイオフィルムの剥離を抑制でき、安定したデータの取得が可能になりました。

実用化企業 (キット製造・販売)

株式会社同仁化学研究所

住所：熊本県上益城郡益城町田原2025-5

電話番号：096-286-1515

URL：https://www.dojindo.co.jp/

微生物およびバイオフィルム測定キット

生物食品研究所

研究開発に基づく成果



Biofilm Formation Assay Kit

実用化時期 平成20、21年度、令和元年度

商品名 ① Biofilm Formation Assay Kit
② Biofilm Viability Assay Kit
③ Microbial Viability Assay Kit-WST
④ -Bacstain- CTC Rapid Staining Kit

実用化企業

株式会社同仁化学研究所

住所：熊本県上益城郡益城町田原2025-5

電話番号：096-286-1515

URL：http://www.dojindo.co.jp/

従来の課題

一般的な微生物の検出法やバイオフィルムの測定・評価法では、操作が煩雑で測定に時間を要することが課題でした。

開発内容

(株)同仁化学研究所の保有する“テトラゾリウム化合物”と生物食品研究所の保有する“生細胞測定技術”や“バイオフィルム形成技術”を組み合わせることで、迅速かつ簡便な測定法を開発しました。

製品・技術の特徴

微生物およびバイオフィルム測定キットのラインナップ

- ① バイオフィルム形成量・形成阻害測定キット
- ② バイオフィルム薬剤効果測定キット
- ③ 微生物増殖アッセイキット
- ④ 生菌選択的蛍光染色キット

オールインワン美容液ジェル

生物食品研究所

研究開発に基づく成果



モイスチャージェル(左)、スーパーモイスチャージェル(右)

実用化時期 平成30年度

商品名 パーフェクトワン モイスチャージェル
パーフェクトワン スーパーモイスチャージェル

実用化企業

新日本製薬株式会社

住所: 福岡県福岡市中央区大手門1-4-7

電話番号: 0120-225-500(商品注文)、0120-355-455(ご相談)

URL: <https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp/>

従来の課題

肌のコラーゲンにはハリや弾力を保つ働きがありますが、年齢とともに減少や糖化(柔軟性減少)することが報告されています。そのため、肌のコラーゲンを生み出し、糖化を防ぐ成分の配合(商品改良)が求められていました。

開発内容

ヒト正常皮膚線維芽細胞を用いたコラーゲン産生促進評価、ヒトタンパク質を用いた抗糖化活性評価を行い、それぞれに機能を有する成分とその有効量を明らかにしました。

製品・技術の特徴

肌のエイジングケアに有用な成分を配合した、オールインワンタイプの美容液ジェル化粧品です。

化粧品・医薬部外品用 ブタ由来プラセンタエキス

生物食品研究所

活用事業: 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業
(中小企業庁)

研究開発に基づく成果



ブタ由来プラセンタエキス KX-1、KX-3

実用化時期 平成27年度

商品名 ブタ由来プラセンタエキス KX-1、KX-3

実用化企業

佳秀工業株式会社 ヘルスケア事業部

住所: 福岡県北九州市若松区南二島2-5-3

電話番号: 093-701-1021

URL: <http://www.kasyu-biochemistry.com/>

従来の課題

エキス抽出工程における成分の犠牲を最小限に抑え、栄養成分を豊富に含んだ高機能性プラセンタ(胎盤エキス)の開発を目指す上で、作製したエキスの機能性を評価する技術が課題でした。

開発内容

各種機能性試験手法(サイトカインの測定、培養細胞を用いた細胞増殖・機能の評価、チロシナーゼ活性測定によるメラニン合成阻害の評価)を確立し、プラセンタエキスを評価して製品開発を支援しました。

製品・技術の特徴

独自の抽出方法により、国産ブタ由来の胎盤から成分のロスや失活を最小限に抑えてエキス化し、高濃度で栄養豊富なプラセンタエキスを実現しました。医薬部外品原料規格「プラセンタエキス(1)」に則しており、化粧品および医薬部外品にご使用いただけます。

成
果

食
品
・
バ
イ
オ

プラセンタエキス配合化粧品

生物食品研究所

活用事業: 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業
(中小企業庁)

研究開発に基づく成果



プラセンタエキス配合化粧品 Genpress(ジェンプレス)

実用化時期 平成27年度

商品名 Genpress(ジェンプレス)

実用化企業

佳秀工業株式会社 ヘルスケア事業部

住所: 福岡県北九州市若松区南二島2-5-3

電話番号: 093-701-1021

URL: <http://www.genpress-japan.com/>

従来の課題

エキス抽出工程における成分の犠牲を最小限に抑え、栄養成分を豊富に含んだ高機能性プラセンタ(胎盤エキス)の開発を目指す上で、作製したエキスの機能性を評価する技術が課題でした。

開発内容

各種機能性試験手法(サイトカインの測定、培養細胞を用いた細胞増殖・機能の評価、チロシナーゼ活性測定によるメラニン合成阻害の評価)を確立し、プラセンタエキスを評価して製品開発を支援しました。

製品・技術の特徴

プラセンタ原料メーカーの強みを活かし、高濃度プラセンタエキスを最大限配合しました。更に、エキスの肌への浸透を促す新技術も組み合わせたオールインワンゲル美容液です。一本でシンプルに本格的エイジングケアを行えます。

金属精錬工程で使われるスラグ発泡抑制材

化学繊維研究所

活用事業: 平成29年度福岡県リサイクル総合研究事業化センター研究会

研究開発に基づく成果



スラグ発泡抑制材

令和3年度福岡県循環型社会
形成推進功労者知事表彰受賞

実用化時期 平成29年度

製品名

ロッキーライトRS

実用化企業

リックス株式会社

住所: 福岡県糟屋郡須恵町植木1321-7

電話番号: 092-935-8013

URL: <http://www.rlx.co.jp/>

従来の課題

金属精錬の際、スラグが発泡膨張して起こる吹きこぼれを防ぐため、発泡抑制材が使用されます。従来製品よりも初期効果が高く、持続効果にも優れ、圧潰に耐える圧縮強度を兼備えた新製品開発を目指していました。

開発内容

原料の成分分析を担当しました。多種類の試作品を作るため、化学繊維研究所の設備を活用した製造支援を行いました。抑制効果を可視化・数値化する評価装置開発を提案し、実炉を模擬した装置を共同開発しました。

製品・技術の特徴

産業廃棄物として処分されていた人工大理石を有効活用し、初期効果と持続性に優れ、圧縮強度も高い製品の開発に成功しました。特許を取得するとともに、平成29年に「ロッキーライトRS」の商品名で販売を開始し、大手製鉄会社への納入に至っています。

微生物を使った豚のにおい対策飼料「201」(におわん)

生物食品研究所

共同研究機関:福岡県農林業総合試験場、JA全農、(株)九州メディカル
活用事業:IST産学官事業(産学官共同研究開発事業)

研究開発に基づく成果



201 (におわん)

実用化時期

平成28年度

商品名

201 (におわん)

実用化企業

株式会社九州メディカル バイオ本部

住所:福岡県久留米市百年公園1-1

福岡バイオインキュベーションセンター 1F

電話番号:0942-36-6088

URL: <http://www.kmed.co.jp/bio/index.html>

従来の課題

養豚業では、低級脂肪酸等の悪臭が発生し、問題となっています。

開発内容

生物食品研究所と(株)九州メディカルは、保有するバチルス属の微生物(約5500株)の中から、低級脂肪酸を低減させる能力を持つ微生物を選抜しました。

製品・技術の特徴

微生物を飼料に混ぜて豚に食べさせると、排泄物から発生する低級脂肪酸の濃度を未使用時の25%に低減することを確認(農林業総合試験場、JA全農)しました。JA全農より、販売されています。

グリーストラップ浄化システム

生物食品研究所

活用事業:ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金
(中小企業庁)

研究開発に基づく成果



微生物資材

実用化時期

平成25年度

商品名

油脂分解用微生物製剤「みつさわセブン」

実用化企業

株式会社MKバイオ

住所:福岡県小郡市三沢2964-7

電話番号:0942-75-0777

URL: <http://www.mkbio.co.jp/>

従来の課題

飲食店等に設置義務があるグリーストラップ(廃油回収槽)の中は、廃油脂により酸性になりやすいことが分かりました。酸性の環境では、従来の油脂分解微生物は、増殖能・油脂分解能が低下するという課題がありました。

開発内容

酸性条件下でも油脂を分解する微生物を土壌中から探索したところ、酸性下でも油脂分解酵素(リパーゼ)を量産する新規微生物の取得に成功しました。

製品・技術の特徴

グリーストラップにターゲットを絞り、油脂分解製剤およびそれを供給・活性化させるシステムを開発しました。実際のグリーストラップにおいて、廃油の蓄積だけでなく悪臭の発生を抑えられるという実績が得られています。

SDGsに対応したクロムめっき液再生装置

機械電子研究所

共同研究機関:(有)深田ハードクローム

研究開発に基づく成果



クロムめっき液再生装置

実用化時期

令和5年度

実用化企業

有限会社深田ハードクローム

住所:福岡県久留米市津福本町字津留2348-3

電話番号: 0942-32-9261

従来の課題

クロムめっき液は、使用を繰り返すと不純物が増加して劣化するため、管理値以上になると廃棄処理が必要でした。そのため、クロムめっき液の長寿命化が望まれていました。

開発内容

劣化クロムめっき液から不純物を取り除き、再生する装置を共同開発しました。

製品・技術の特徴

本開発品は可搬型であり、工場内を自由に搬送して劣化したクロムめっき浴を処理可能です。再生めっき液により省電力、時短効果が得られる上、高いめっき品質を保持できます。また、環境保全にも繋がります。

すず

錫めっき廃液からの錫回収装置

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



錫回収装置外観

実用化時期

平成26年度

商品名

錫回収装置

実用化企業

吉玉精鍍株式会社

住所:宮崎県延岡市大武町39-24

電話番号:0982-33-1251

URL: <http://www.yoshitama.co.jp/>

従来の課題

めっき業者がリサイクルに取り組むためには、大量の排水の中から錫系の廃液を分別し、安価にかつ高濃度の錫回収物を得るための装置開発が課題でした。

開発内容

回収すべき錫廃液の選定および効率的な錫回収方法の開発に取り組み、これらの要素技術を活用した錫回収装置を設計しました。

製品・技術の特徴

開発装置から得られる錫回収物は高品位であることから、錫製錬業者に原料として有価売却できました。この結果、廃棄物が減少し産廃コストの削減に繋がりました。

「読書」を極める小型家具

インテリア研究所 共同研究機関：一龍木工(有)、九州産業大学、スタジオ・ヨー

研究開発に基づく成果



BOOKMARKER

実用化時期 令和6年度

商品名 BOOKMARKER(ブックマーカー)

実用化企業

一龍木工有限会社

住所：福岡県大川市大字本木室107-1

電話番号：0944-86-2683

URL：https://moku-ichiryu.com/

従来の課題

一龍木工有限会社はオーダー家具の製造・販売事業の他、子供向けの自社ブランド「kifto」を展開しています。同社は法人からのオーダー家具の売上げ比率が高く、外的影響を受けやすい経営状況が課題でした。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、オーダー家具で培った技術力を活かした新ブランドの設立に組みました。新ブランドの顔となるような、読書という行為に着目した小型家具を商品化しました。

製品・技術の特徴

読書中に飲み物や読みかけの本を置けるサイドテーブル「BOOKMARKER」を開発しました。事業によりマッチングしたデザイナーの提案から1枚の板から切り出すアイデアを採用し、環境負荷に配慮した物語性のある製品を実現しました。

猫と使う収納家具

インテリア研究所 共同研究機関：(有)ヨコタウッドワーク、九州産業大学、スタジオ・ヨー

研究開発に基づく成果



Koban Shelf

実用化時期 令和6年度

商品名 Koban Shelf (コバン シェルフ)

実用化企業

有限会社ヨコタウッドワーク

住所：福岡県大川市大字小保968

電話番号：0944-86-3822

URL：https://yokotanodesk.com/

従来の課題

有限会社ヨコタウッドワークは「多機能」な机を製造・販売しています。コロナ禍以降、ペットインテリアへの需要が増加していると認識していましたが、自社の企画・開発ではデザインに偏りが生じるという課題がありました。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、「住宅のリビングで使用」、「人とネコがそれぞれの目的で一緒に使える」、「あっと驚く機能性を持った家具」という製品コンセプトを構築し、製品化に組みました。

製品・技術の特徴

棚板間の小判状の板が回転する機構が特徴的な「Koban Shelf(コバン シェルフ)」を開発しました。人は物を収納する棚として使用し、猫は棚板間を上下に移動するキャットタワーとして使用できます。

ノックダウン式のキッズデスク・チェア

インテリア研究所 共同研究機関: 福山木工(株)、九州産業大学、(有)TOMORROW

研究開発に基づく成果



キッズデスク・チェア

実用化時期 令和6年度

商品名 キッズデスク・チェア

実用化企業

福山木工株式会社

住所: 福岡県大川市大橋213-5

電話番号: 0944-88-0880

URL: <https://fymk.co.jp>

従来の課題

福山木工株式会社は、無垢材を使用したダイニングテーブルやテレビボードなどの製造・販売を行っています。子供向けの高品質な家具の需要が多いことに着目し、自社開発製品を販売したいと考えていました。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、ららぽーと福岡でのヒアリングを実施した結果、来店者は未就学児へ贈る高品質な家具を求めており、その多くの方が公共交通機関を使って来店していました。そこで、持ち帰り可能な組み立て式家具でありながら上質感がある「キッズデスク・チェア」の開発を目指しました。

製品・技術の特徴

購入者が組み立てる仕様(ノックダウン式)でありながら、十分な強度を備え、組み立てやすい子供向け家具と、専用パッケージが完成し、ららぽーと福岡のおもちゃ美術館での販売が開始されました。

優しさを感じる猫用木製家具

インテリア研究所 共同研究機関: (株)馬場木工、九州産業大学、松本意匠

研究開発に基づく成果



キャットテーブルSora キャットテーブルRin ユニット

猫用木製家具シリーズ

実用化時期 令和5年度

商品名 キャットテーブルSora, Rin / ユニットS,M,L

実用化企業

株式会社馬場木工

住所: 福岡県久留米市三潅町西牟田2225-6

電話番号: 0942-64-5261

URL: <https://babamokkou.com/>

従来の課題

株式会社馬場木工は、玄関収納家具を中心に、公共施設・マンションなどのオーダー家具の製造・販売を行っています。企業からペット用靴箱の製作を依頼され、ペット用家具の新たなニーズがあることを掴みました。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、人とペットがより良く共生できること、木のあたたかさ、ぬくもりを感じることができることを重要視したペット用家具の開発を目指しました。

製品・技術の特徴

猫が登ったり隠れたりできる遊ぶための製品(ユニット)と、くつろいだり人と一緒にダイニングテーブルで食事ができる製品(キャットテーブル)が完成しました。猫が安全に使用できるよう、国産ヒノキと安全な塗料を使用しました。

着物ビギナーに向けたコンパクトな桐箆笥

インテリア研究所

共同研究機関: (株)総桐箆笥和光、九州産業大学、佐々木健五

研究開発に基づく成果



桐箆笥「NEW LAYER」

実用化時期

令和5年度

商品名

NEW LAYER

実用化企業

株式会社総桐箆笥和光

住所: 福岡県三潁郡大木町三八松1048

電話番号: 0944-33-1421

URL: <https://www.tansu.com/>

従来の課題

株式会社総桐箆笥和光は、1977年から桐箆笥を製造しています。ライフスタイルや住環境の変化により、大型で古風な桐箆笥の需要が減少しているという課題がありました。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、着物ビギナーに向けた、数枚の着物を収納でき、着物が増える度に増設できるコンパクトな桐箆笥を開発しました。

製品・技術の特徴

金属製フレームと桐箆笥ユニットが組み合わされたシンプルな見た目となり、和室にも洋室にも合う洗練されたデザインの桐箆笥が完成しました。

年輪材の価値を感じることができるテーブル「MONUMENTAL」

インテリア研究所

共同研究機関: (株)ウエキ産業、九州産業大学、KUBO DESIGN STUDIO

研究開発に基づく成果



テーブル「MONUMENTAL シリーズ」

実用化時期

令和4年度

商品名

MONUMENTAL

実用化企業

株式会社ウエキ産業

住所: 福岡県大川市大字九網357-1

電話番号: 0944-88-3388

URL: <https://uekisangyo.com/>

従来の課題

製材業を中心に杉の造作家具や建具等の開発も行う(株)ウエキ産業では、「年輪材」の価値に着目し、課題である乾燥時の『V字割れ』防止技術を確立してきましたが、「年輪材」の価値をユーザーに伝える、意匠性の高い製品の開発が必要でした。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、「年輪材」の持つ重厚感や質感を生かし、家の中で主役となり長く使うことができるテーブルの開発に着手し、外部のデザイナーの協力を得て3種類のテーブルを開発しました。

製品・技術の特徴

年輪材は直径30cmと小径のものから100cmを超えるものもあり、脚部の形状を3パターン用意することで、どんな直径の年輪材にも対応できるようにしました。外形デザインとしては、脚部を黒色で仕上げ、シックでより天板を強調する意匠となっています。

木を使ったモダンデザインのフロアライト「ROTINI」

インテリア研究所 共同研究機関：(株)丸庄、九州産業大学、ペリ クラーク ペリ アーキテクトジャパン(株)

研究開発に基づく成果



フロアライト「ROTINI」

実用化時期 令和4年度

商品名 ROTINI

実用化企業

株式会社丸庄

住所：福岡県大川市大字酒見543

電話番号：0944-86-3651

URL：https://k-marusho.com/

従来の課題

無垢材を用いて、チェスト、テレビボード等の収納家具やソファ等の脚物家具を製造販売している(株)丸庄は、空間をトータルで演出し、商品提案ができる家具メーカーに成長したいという課題がありました。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、丸庄独自の木材加工技術「ウェーブ加工」をより魅力的に表現し、丸庄の家具がある空間に置くことで互いに魅力を引き立て合うフロアライトの開発を行いました。

製品・技術の特徴

ねじることで間接照明と手元灯、2通りの使い方ができます。ねじる部分にオリジナル金具を採用し、メンテナンスが可能でありながら、高級感のあるスムーズな動作を実現しました。真鍮と無垢材の経年変化が楽しめる高級感のあるフロアライトが完成しました。

キッズスツール＆デスク「totte」

インテリア研究所 共同研究機関：(株)志岐、九州産業大学、SATEREO

研究開発に基づく成果



スツール＆デスク「totte」

福岡デザインアワード2021 金賞受賞

実用化時期 令和3年度

商品名 totte(トツテ)

実用化企業

株式会社志岐

住所：福岡県柳川市田脇72-3

電話番号：0942-74-5361

URL：https://i-shiki.jp

従来の課題

箱物家具を製造・販売してきた株式会社志岐はその市場が飽和状態にあると感じており、新たな挑戦として、比較的市場が好調な椅子やテーブルといった脚物家具の開発・製造・販売に取り組むことは必要不可欠でした。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、キッズ用のスツールとテーブルに着手しました。特に座り心地などに配慮し曲線形状であったスツールの座面は加工が難しく、何度も試作を重ねて完成しました。

製品・技術の特徴

人間工学的に配慮したスツールの座面は、座り心地の良さや姿勢を良くするなど子どもに良い影響を与えます。また、座面後方のハンドルは座っている時には座位サポートを、持ち運びたい時には持ち手の役目となり、使い勝手の良いスツールとなっています。

指挟み防止ドア

インテリア研究所

技術指導に基づく成果



指挟み防止ドア「ノンプレス」

実用化時期

令和2年度

商品名

ノンプレス

実用化企業

株式会社オークマ

住所: 福岡県朝倉市菱野1548

電話番号: 0946-52-2800

URL: <https://www.o-kuma.co.jp/>

企業の課題

住宅用ドアで生じる事故のほとんどが、開閉時にドアとドア枠に生じる隙間で指を挟んでしまうものであることから、指挟みを防止できる新たなアイデアと意匠性の高いデザインが求められていました。

センターの取組・支援内容

ドアとドア枠の隙間に指が入らないようなドアのデザインを提案し、ドアの加工性や施工性の側面について企業と意見交換を行いながら、デザインのブラッシュアップを行いました。

取組・支援の効果

一般住宅のみに限らず、小さいお子様が多く活動する保育園・児童向け施設や病院・高齢者向け施設など、ユニバーサルな場所にもオススメできる商品となりました。

ウィンザースタイルのダイニングセット

インテリア研究所

共同研究機関: (株)辻製作所、ファニチャーデザイン、九州産業大学

研究開発に基づく成果



ウィンザースタイルのダイニングセット「George(ジョージ)」

実用化時期

令和元年度

商品名

George (ジョージ)

実用化企業

株式会社辻製作所

住所: 福岡県大川市大字向島1671-1

電話番号: 0944-86-2938

URL: <http://www.tsuji-ss.com/>

従来の課題

新たな顧客を獲得するため、複雑な形状の部材加工や、技術的難易度が高い部材の組み立てなど自社の高度な製造技術を活かせる製品の開発が必要となっていました。

開発内容

辻製作所、九州産業大学、インテリア研究所の開発グループで、高度な製造技術を意匠として表現できるスタイルを検討し、複雑な形状の部材で構成される、英国の伝統的なスタイルを採り入れた製品コンセプトを立てました。さらに、ファニチャーデザインがデザインを手掛け、17世紀頃の英国で主流のウィンザースタイルを採り入れたダイニングセットを開発しました。

製品・技術の特徴

絞り加工を施した細い背柱、複数の背柱が貫通する複雑な形状を有した座板、組み立ての難易度が高い両端の背柱が座板を貫通する構造等の特徴を持つ、ダイニングチェアと、それにマッチするダイニングテーブルを商品化しました。

成
果

家具・デザイン

インテリアの中心になる美しいゴミ箱 o-Ne(オネ)

インテリア研究所

共同研究機関：(有)丸惣、アハト(株)、九州産業大学

研究開発に基づく成果



o-Neの単独の設置(左)と並べての設置(右上)

実用化時期 令和元年度

商品名 o-Ne(オネ)

販売価格 152,900円

実用化企業

FIEL

住所：福岡県福岡市西区今宿3-23-20-101

URL：<http://fiel.jp/>

従来の課題

(有)丸惣は、ミニマム、シンプルをコンセプトとするオフィス向け家具ブランド「FIEL」を立ち上げ、新たな顧客の獲得を目指しています。ラインナップ拡充を図るため、主力製品のオフィスデスクに加わる新たなオフィス向け家具の開発が必要となっていました。

開発内容

福岡県家具ブランド力向上支援事業により、新製品開発に着手しました。(有)丸惣の高い木材加工技術を活かした、スタイリッシュなオフィス向け什器というコンセプトを構築し、アハト(株)がデザインを手掛けたDUST BOX「o-Ne」を開発しました。

製品・技術の特徴

側面が削ぎ落された形状を持ち、見る角度によって異なる意匠に見える点や、複数台並べて配置したときに山脈の尾根(オネ)のような見える点を特徴とするデザインとなっております。FIELブランドに更なる広がりを与える製品が完成しました。

姿勢良く座れる幼児用いす「ピットチェア」

インテリア研究所

技術指導に基づく成果



人間工学の観点から検証・開発した椅子「ピットチェア」

2017キッズデザイン賞入賞

実用化時期 平成28年度

商品名 ピットチェア

販売価格 15,125円(2,3才児用) 15,400円(4,5才児用)

実用化企業

株式会社ジャクエツ 久留米店

住所：福岡県久留米市合川町2164-1

電話番号：0942-39-3881

企業の課題

幼稚園や保育園における子どもの着座姿勢が問題視されています。姿勢が悪いと、集中力の低下や運動能力の低下等の悪影響を及ぼすと指摘されています。そこで、良い姿勢で着座できる椅子の開発に着手しました。

センターの取組・支援内容

人間工学的な知見に基づき、正しい着座姿勢を促す座面の傾き・形状及び、腰板の形状を提案し、試作品を製作しました。幼児を被験者とする姿勢評価実験を実施し、試作品の性能を検証しました。

取組・支援の効果

実験の結果、腰板が骨盤の仙骨を中心に腰部を支持することで、安定して座ることが可能となり、座面に対して体幹が90度近くで安定し背筋が伸びた正しい姿勢で着座できることが確認できました。現在、商品名「ピットチェア」で販売しています。

座り心地を追求した木製ダイニングチェア

インテリア研究所

共同研究機関：ナカヤマ木工、富山大学

研究開発に基づく成果



木製ダイニングチェア「オルソル」

実用化時期

平成25年度

商品名

オルソル

販売価格

70,000円(ウォールナット・ブラックチェリー)

実用化企業

ナカヤマ木工

住所：福岡県大川市小保住吉800

電話番号：0944-86-4227

URL：http://www.nkym-solid.jp/

従来の課題

総木製でありながら、クッション付きのイスと同等の座り心地を備えたダイニングチェアの開発が求められていました。

開発内容

人間工学に基づき、優れた体圧分散性により臀部の負担を軽減し、着座時に骨盤を起こすことによって上半身の姿勢の安定性を得られる座面と背もたれの形状を設計し、試作と実験によりその効果を検証しました。

製品・技術の特徴

製品化されたダイニングチェアは、十分な強度を持ち、身体を優しく包み込み安定感のある柔らかな座り心地を実現しています。

マグネットが付く化粧板

インテリア研究所

技術指導に基づく成果



ピタバンを施工した壁へのマグネット製品使用例

実用化時期

平成27年度

商品名

ピタバン®

実用化企業

有限会社イマヤマ

住所：福岡県大川市榎津103-2

電話番号：0944-86-3037

URL：http://www.imayama.com/

企業の課題

マグネット吸着性能を有した装飾性と機能性を兼ね備えた内装材を開発するにあたり、基材とスチール箔の接着および接着後の反りの抑制が課題でした。

センターの取組・支援内容

基材とスチール箔の接着性能の評価を行いました。また、製品の反りの評価を実施し、反りを抑制する方法について提案を行いました。

取組・支援の効果

基材とスチール箔を適切に接着することが可能となりました。また、反りを抑制した製品を開発できました。マグネット製品を使った自由なインテリア空間を創造できる化粧板として、住宅や店舗の壁、家具などに用いられ、公共施設でも採用されています。

高級浴室向け木製グレーチング部材

インテリア研究所

生物食品研究所

研究開発に基づく成果



木製グレーチング(RAFFINE)

実用化時期

平成26年度

商品名

RAFFINE

実用化企業

株式会社シマブン

住所:福岡県久留米市中央町28番地7

電話番号: 0942-89-5235

URL: <http://shimabun.jp/>

従来の課題

(株)シマブンは、高級浴室向けに無垢材を用いた排水ユニットの開発要請を受けましたが、自社では木質感と防カビ性能を両立する木製グレーチング部材の開発が困難でした。

開発内容

高級浴室向け木製グレーチングに適した樹種の選定、防カビ塗料とその塗装方法の組み合わせについて検討を行いました。

製品・技術の特徴

世界三大銘木のウォルナット材を用い木質感と防カビ性能を両立する加工技術を確立しました。平成26年には高級バスタブや高級浴室向け木製グレーチングの商品化に成功し、新規カテゴリー参入の足掛かりを得ました。

適切な筆記姿勢に導く手置き具

インテリア研究所

研究開発に基づく成果



手置き具(左)とその使い方(右)

第80回 東京インターナショナルギフトショー
新製品コンテスト大賞受賞

第16回 福岡デザインアワード 大賞受賞

第8回 ものづくり日本大賞 九州経済産業局長賞

実用化時期

平成26年度

商品名

ぐっ波斯

販売価格

3,300円(大)、2,750円(小)

実用化企業

独楽工房 隈本木工所

住所:福岡県八女市吉田1507-3

電話番号: 0943-22-2955

URL: <http://www.yamegoma.jp/>

従来の課題

子どもは、体力が続かないため、筆記時に身体を机に預ける悪い姿勢をとりがちです。姿勢の悪さは疲れや集中力の低下にもつながるため、姿勢を改善する補助具の開発が求められていました。

開発内容

筆記時の姿勢は鉛筆を持たない側の手の置き方に影響されるという知見から、適切な位置に手を導き、良い姿勢となるよう体を支える役割を果たす補助具を開発し、フィールド調査と実験を行い効果を検証しました。

製品・技術の特徴

企業へ技術移転を行い商品化しました。教育現場でもその効果が実証されており、数多くのメディアに取り上げられ、各種展示会等でも大きな注目を集めています。

胴体にらせん状の溝を加工した独楽(コマ)

インテリア研究所

活用事業:ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金
(中小企業庁)

研究開発に基づく成果



商品化したらせんコマ「ラクコマⅡ」

グッドトイ2015選定

実用化時期

平成26年度

商品名

ラクコマⅡ

販売価格

880円～

実用化企業

独楽工房 隈本木工所

住所:福岡県八女市吉田1507-3

電話番号:0943-22-2955

URL: <http://www.yamegoma.jp/>

従来の課題

紐を巻くことが苦手でコマで遊ばなくなった現代の子供達も楽しく遊べるように、らせん状の溝加工を胴体に施すことで紐を巻きやすくし、鉄芯を使わず室内でも遊べるコマの開発が求められていました。

開発内容

らせん状の溝加工など、従来の機械ではできなかった複雑な加工を可能とする加工機の導入支援(補助金申請指導、加工機操作指導)と、らせん状の溝があるコマの3次元CADモデルの製作指導を行いました。

製品・技術の特徴

導入した加工機を使用して胴体にらせん状の溝加工を施し、芯と胴体を一体で削り出したコマの製作に成功しました。開発したコマは、らせんの溝が紐に掛ることで巻きやすく、芯が木製なので室内で遊んでも床を傷つけません。

適切な姿勢に導く、持ち運べる学習台

インテリア研究所

研究開発に基づく成果



開発した学習台(左)とその使用例(右)

第15回福岡デザインアワード入賞

実用化時期

平成25年度

商品名

マナベル

販売価格

17,820円

実用化企業

有限会社ヨコタウッドワーク

住所:福岡県大川市大字小保968

電話番号:0944-86-3822

URL: <http://yokotaww.com/>

従来の課題

小学校低学年時の児童には、集中力を養うための適切な姿勢教育・養成が必要です。一方、家庭内での学習は、住居の狭小化に伴い、リビング等で親と一緒にいるスタイルが増え、学習機の販売量は減少傾向です。

開発内容

学習時に適切な姿勢に導くことができると同時に、学習機のように場所を取らず、家中どこでも効率よく学習でき、インテリア性にも優れた学習台を開発、企業へ技術移転し製品化しました。

製品・技術の特徴

本を体の正面に縦置きすることで、自然と視線が高くなり背筋が伸びます。ノートを置く台には適切な傾斜を設けており、自然と体が起き上がります。学習台本体は、持ちやすく本やノートも収納でき、リビングやダイニング、家中どこでも持ち運んで使えます。

成
果

家具・デザイン

木材薄板を用いた容器類

インテリア研究所

技術指導に基づく成果



木製薄板を用いた容器

実用化時期

平成23年度

商品名

moku-takumi

実用化企業

株式会社イマムラ・スマイル・コーポレーション

住所：福岡県久留米市荒木町白口1967-5

電話番号：0942-27-0057

URL：http://i-s-co.jp/

企業の課題

曲物に代表される木製容器は、質感は高いものの高価になります。一方プラスチック容器は、安価ですが木質感に劣ります。そこで、木質感を有しながら、安価に製造できる木製容器が求められていました。

センターの取組・支援内容

CADシステムを用いて、デザインおよび設計を支援しました。また、薄板の成形および接着に関する技術指導を行いました。

取組・支援の効果

CADシステムを用いることにより、多種多様な容器形状の設計や最適な形状の決定を効率化できました。接着工程の工夫により、安価な製造が可能となるとともに、食品用として使える安全な容器を開発し、平成23年に「moku-takumi」として商品化されました。

不燃木材

インテリア研究所

共同研究機関：九州木材工業(株)、八光オートメーション(株)

研究開発に基づく成果



不燃木[®]
フネギ

実用化時期

令和5年度

商品名

不燃木(フネギ)

実用化企業

九州木材工業株式会社

住所：福岡県筑後市大字和泉309-1

電話番号：0942-53-2174

URL：https://www.kyumoku.co.jp/

従来の課題

従来の難燃処理した木材は経年変化や湿度により表面に難燃剤のしみ出しや白華(はっか)が発生することが課題でした。また一般的な品質管理方法では、木材内部の難燃剤の分布までは検査できないという課題がありました。

開発内容

新規難燃剤の開発(薬剤配合の検討、木材試験片による吸湿性能の検証)を行いました。また検査装置の開発のため、X線CT装置(機電研)を用いて薬剤分布の裏付けデータの取得を行いました。

製品・技術の特徴

新規難燃剤は難燃性に加え、従来品より吸湿性が低いいため、これを使用した不燃木材はしみ出しや白華を抑えることができます。また開発したマイクロ波検査装置により、木材を壊さずに難燃剤の分布を検査することができます。

素材感を保持できる木材のソープフィニッシュ処理液

化学繊維研究所

共同研究機関: まるは油脂化学(株)、関光デザイン事務所

研究開発に基づく成果



ソープフィニッシュ処理液
「WENNEX(ベネックス)」

実用化時期

平成17年度

商品名

WENNEX

実用化企業

まるは油脂化学株式会社

住所: 福岡県久留米市高野2-8-53

電話番号: 0942-32-9529

URL: <http://e-soap-finish.com/>

従来の課題

安全な天然材料を原料とし、無垢材の素材感を損ねない、かつ防汚性を向上できる木材塗装を探していました。しかし、一般的な塗装方法では木の色、手触り、木の香り等が変化する課題がありました。

開発内容

提案された天然材料を基に、解決手法、色彩、肌触り及び防汚性などの評価を行い、目標を具現化できる石けん塗装技術の提案を行いました。また、この技術の特許出願から登録、海外展開の支援を行いました。

製品・技術の特徴

塗装液の商品化が達成され、家具や建材等の塗装に展開できました。一部、海外へも販売できました。また特許登録、および技術的なデータがあるため、技術的な保護、商品の信頼性が得られ、販売の向上に寄与できました。

低分子フェノール樹脂注入木材

インテリア研究所

共同研究機関: 九州大学大学院農学研究院、九州木材工業(株)

研究開発に基づく成果



エコアコールウッド製の公園四阿

実用化時期

平成14年度

商品名

エコアコールウッド

実用化企業

九州木材工業株式会社

住所: 福岡県筑後市大字和泉309-1

電話番号: 0942-53-2174

URL: <http://www.kyumoku.co.jp/>

従来の課題

スギ等針葉樹を屋外製品に利用するためには、「柔軟」「腐朽する」等の欠点克服が必要でした。そこで九州大学が開発した樹脂(メチロール化フェノール)を含浸した新たな耐久性木材の開発に取り組みました。

開発内容

樹脂合成用小型プラントの開発、並びに各種腐朽菌を用いた樹脂含浸木材の腐朽試験及び防蟻試験を行い、新規高耐久性木材の有効性を明確にしました。

製品・技術の特徴

現在、各種建築物の木製外壁材での実績や、厳島神社の海中支柱、並びに伊勢神宮など国宝及び国宝級建築物の部材として、歴史的建造物を支える製品に育っています。

成
果

家具・デザイン

冷凍車温度均一化3Dダクト

機械電子研究所

共同研究機関：(株)矢野特殊自動車

研究開発に基づく成果



冷凍車温度均一化3Dダクト 取付写真(展示会出展)

実用化時期

令和6年度

商品名

冷凍車温度均一化3Dダクト

実用化企業

株式会社矢野特殊自動車

住所：福岡県粕屋郡新宮町上府北4丁目2番1号

電話番号：092-963-1083

URL：<https://www.yano-body.co.jp/>

従来の課題

冷凍冷蔵車では、庫内に積まれた荷物が庫内の冷気循環を妨げ、庫内の温度ムラが大きくなる場合があります。近年は医薬品など、庫内の厳密な温度管理を要求されるケースが増え、庫内温度を均一化する必要がありました。

開発内容

先端を絞り込んだダクトを冷気吹出口に取り付け、冷気の吹出速度を向上させることで、庫内の温度均一化を図りました。冷凍冷蔵車の庫内を対象に熱流体解析を行い、ダクト取付けの有効性を検証しました。

製品・技術の特徴

ダクトの取付けにより冷気の風量は減るものの、吹出速度が向上して、冷気が庫内全体に広がりやすくなりました。先端を三次元的に絞り込んだ形状から、商品名を「3Dダクト」として、高度な温度管理を求めるお客様向けのオプション装備として販売を開始しました。

輻射空調パネル

機械電子研究所

共同研究機関：(株)エース・ウォーター、北九州市立大学

研究開発に基づく成果



輻射空調パネル

実用化時期

令和4年度

商品名

Radi・Ace

実用化企業

株式会社エース・ウォーター

住所：福岡県福岡市博多区上呉服町1-8北九州銀行呉服町ビル

電話番号：092-282-5628

URL：<https://www.ace-water.net/>

従来の課題

学校や公共施設の体育館では、ホコリやウイルスなどの飛散が生じにくく、バドミントンなどの風が問題になる競技に影響を与えない空調設備が求められていました。

開発内容

従来よりも表面積を増やし、熱交換量を増加させた輻射空調パネルの開発に取り組みました。粒子画像流速測定法によるパネル周りの気流可視化や、体育館全体のCAE(熱流体解析)を行い、パネル配置を検討しました。

製品・技術の特徴

輻射と自然体流により温調可能な輻射空調パネルを、「Radi・Ace」の商品名で販売開始し、体育館などの施設に納入しています。

甘夏みかんの自動外皮剥皮装置

機械電子研究所

共同研究機関: (株)マルミツサンヨー

研究開発に基づく成果



甘夏みかんの自動外皮剥皮

実用化時期

令和4年度

商品名

甘夏みかん自動外皮剥皮装置

実用化企業

株式会社マルミツサンヨー

住所: 福岡県八女市立花町兼松1634

電話番号: 0943-37-1131

URL: <http://www.marumitsu-sunyo.co.jp/>

従来の課題

柑橘類缶詰の需要拡大が続く中、甘夏みかんは自動での外皮剥皮が難しく、処理に時間を要することのほか、外注先への移送・回収時に原料が劣化することが供給量低下の問題となっていました。

開発内容

缶詰の原料として使用可能な状態、かつ果実を傷付けることなく剥皮処理が可能な方法を検討した結果、吸引と爪の掛下げによる、完全自動の外皮剥皮装置を開発しました。

製品・技術の特徴

処理能力約30%向上および処理コスト約40%低減を同時に達成するとともに、剥皮した外皮については輸送の鮮度低下を防止することができるため、食品や香料としての2次利用が可能となりました。
特許出願中: 特願2020-165141

プラスチック金型用冷却促進構造

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



プラスチック金型用冷却促進構造

実用化時期

平成27年度

実用化企業

シバタ精機株式会社

住所: 福岡県朝倉市杷木林田807番地の1

電話番号: 0946-63-3395

URL: <http://homepage3.nifty.com/shibata-seiki/>

従来の課題

射出成形金型の成形サイクルにおいて、冷却工程は大きな割合を占める重要な工程であり、生産性の向上の観点から冷却時間の短縮が求められています。

開発内容

金型内の冷却孔に設置することで成形品の冷却を速める構造をCAE(熱流体解析)の活用と試作実験により開発しました。

製品・技術の特徴

金型温度調節機や冷却回路を変更することなく、冷却時間の短縮が可能となりました。試作実験では冷却時間を15%短縮する効果が得られました。

高容量発電機負荷試験装置

機械電子研究所

活用事業:ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金
(中小企業庁)

研究開発に基づく成果



高容量発電機負荷試験装置

実用化時期 平成25年度

実用化企業

赤司電機株式会社

住所:福岡県遠賀郡遠賀町大字鬼津1688-2

電話番号:093-293-6911

URL: <http://www.akashidenki.co.jp/>

従来の課題

発電機負荷試験装置の大容量化のニーズが高まっていますが、輸送の都合上、筐体の大きさは変更できません。大容量化のためには、1ユニット当たりのヒーター容量を増加させる必要があり、放熱設計が課題でした。

開発内容

CAE(熱流体解析)を活用して、放熱性能に優れた発電機負荷試験装置の設計を行いました。

製品・技術の特徴

現状製品と同じ筐体サイズで、ヒーター容量を25%増加した発電機負荷試験装置の開発につながりました。開発した高容量発電機負荷試験装置は、発電機メーカー等で使用されています。

電力損失低減に優れた永久磁石発電機

機械電子研究所

共同研究機関:赤司電機(株)、大分大学

研究開発に基づく成果



永久磁石発電機「GENE-MASTER」

実用化時期 平成21年度

商品名

GENE-MASTER

実用化企業

赤司電機株式会社

住所:福岡県遠賀郡遠賀町大字鬼津1688-2

電話番号:093-293-6911

URL: <http://www.akashidenki.co.jp/>

従来の課題

従来の発電機は、電磁鋼板と永久磁石が本来持っている磁気特性を最大限引き出すことができていなかったため、低速回転の永久磁石式同期発電機においては効率が90%を超えるものはありませんでした。

開発内容

大分大学、機械電子研究所と連携し「数値に裏づけされた確かなモノづくり」を企業コンセプトに「ベクトル磁気解析」と「材料素材解析」の2大解析技術の中核とする確かな「永久磁石発電機」を開発しました。

製品・技術の特徴

低速回転高効率型永久磁石式同期発電機「GENE-MASTER」シリーズを製品化しました。600rpmの低速回転において効率90%以上を実現しており、まさに低炭素社会に貢献できる、これまでにない高効率発電機です。

木質系バイオマス燃焼ボイラ

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



木屑ボイラ

従来の課題

(株)エム・アイ・エスはバイオマスの燃焼技術を有し、バイオマスバーナーを製造販売しています。同社にはバイオマスバーナー単体ではなくシステム供給者として市場参入するという課題がありました。

開発内容

バイオマスバーナーを導入した温水ボイラの開発にあたり、CAE(熱流体解析)による燃焼時の温度特性評価と伝熱面配置に関する技術支援を行いました。

製品・技術の特徴

開発した温水ボイラは木屑ボイラとして製品化し、市場展開されています。

実用化時期

平成27年度

商品名

木屑ボイラ

実用化企業

株式会社エム・アイ・エス

住所: 福岡県福岡市西区今津5413-10

電話番号: 092-834-5131

URL: <http://www.mis-r.co.jp/>

新構造低コストステンレス製氷板

機械電子研究所

活用事業: 福岡県中小企業円高対策緊急補助金

研究開発に基づく成果



新構造低コストステンレス製氷板

従来の課題

既存のアルミ製製氷板は構造が複雑で、外注加工の製造コストが大きいものでした。製氷機メーカーとして競争力を向上させるためには、低コストで内製率100%の新構造製氷板の開発が必要でした。

開発内容

新構造の製氷板においては、冷媒が均一に流れる冷媒流路形状の設計が重要でした。CAE(熱流体解析)による設計、また試作した製氷板の性能評価試験により、製氷板流路形状の最適化設計を行いました。

製品・技術の特徴

部品点数と製造工程数を削減でき、製氷機の製造コストが従来比10~15%削減されました。本開発品は、アイスマン(株)の標準製氷板となり、多くの漁業協同組合や人エスキー場に納品され、稼働中です。

実用化時期

平成24年度

実用化企業

アイスマン株式会社

住所: 福岡県久留米市宮ノ陣3-6-23

電話番号: 0942-27-6600

URL: <http://www.iceman.co.jp/>

超音速湿式ジェットミル

機械電子研究所

化学繊維研究所

研究開発に基づく成果



第7回ものづくり日本大賞
製品・技術開発部門
特別賞受賞

超音速湿式ジェットミル「G-smasher PM-H1000」

実用化時期

平成22年度

商品名

G-smasher

実用化企業

リックス株式会社

住所: 福岡県糟屋郡須恵町植木1321-7

電話番号: 092-935-8013

URL: <http://www.rix.co.jp/>

従来の課題

電子部品の原料として、高機能を有するナノ粒子の利用が増加しており、容易に凝集するナノ粒子を解砕する技術が必要とされていました。

開発内容

超音速二流体ノズルの技術シーズを活用し、ナノ粒子凝集体を含むスラリー液滴を超音速まで加速して硬質基板に衝突させることで分散させる全く新しいナノ粒子分散技術を開発しました。

製品・技術の特徴

開発した分散装置は、ナノ粒子にダメージを与えずに分散ができる「ダメージレス分散」が高く評価され、金属ナノ粒子の分散などに利用されています。

超精密洗浄ノズル

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



マイクロアイスジェットによる精密洗浄

実用化時期

平成20年度

商品名

マイクロアイスジェット

実用化企業

リックス株式会社

住所: 福岡県糟屋郡須恵町植木1321-7

電話番号: 092-935-8013

URL: <http://www.rix.co.jp/>

従来の課題

半導体の製造プロセスにおいて、パターンングの微細化に伴い、サブミクロン以下の微小な汚染粒子を洗浄、除去する技術が求められていました。

開発内容

ラバルノズルの管内において、水を微粒化すると同時に断熱膨張による急冷効果により、氷粒子と過冷却水滴から構成される噴霧粒子群を形成し、超音速で噴射する技術シーズを開発しました。

製品・技術の特徴

開発したマイクロアイスジェット洗浄ノズルは、半導体製造工場に導入され、品質の向上に役立っています。

ポール型点検ロボット

機械電子研究所

共同研究機関：新日本非破壊検査(株)、九州工業大学、名古屋大学

研究開発に基づく成果

従来の課題

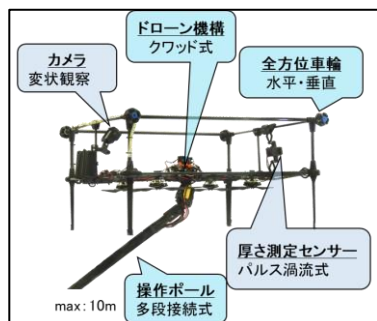
プラント・インフラの予防保全が重要視されるようになり、低コストで効率的に点検が行えるドローンを用いたポール型点検ロボットと、そのロボットへの搭載に適したセンサの開発が必要となりました。

開発内容

鋼構造物の厚さを測定する独自のパルス渦電流センサの開発を、磁界解析(CAE)を活用して行いました。また、3Dプリンタを活用して高強度ドローン部品の作製も行いました。

製品・技術の特徴

大型構造物などの高所でも足場の設置を必要とせず効率的に点検を行うことができます。新日本非破壊検査(株)では、令和3年度より本点検ロボットによる点検サービス事業を開始しました。



ポール型点検ロボットとタンクの点検の様子

実用化時期

令和3年度

実用化企業

新日本非破壊検査株式会社

住所：福岡県北九州市小倉北区井堀4-10-13

電話番号：093-581-1234

URL：<https://www.shk-k.co.jp/>

小径管内検査ロボット

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



小径管内検査ロボット”マイクロエルボマスター”

第12回新機械振興賞 機械振興協会会長賞 受賞

実用化時期

平成25年度

実用化企業

新日本非破壊検査株式会社

住所：福岡県北九州市小倉北区井堀4-10-13

電話番号：093-581-1234

URL：<http://www.shk-k.co.jp/>

従来の課題

内径がφ100mm前後の配管に進出し検査を実施するためには、曲管や垂直配管を自由に移動できる新たな移動機構を考案する必要がありました。

開発内容

オムニホイールと呼ばれる車輪外周上に複数のローラーを持つ特殊な車輪と、への字型リンク構造を組み合わせた新たな移動機構を考案し、ロボットの試作・実験を行いました。

製品・技術の特徴

開発した検査ロボットは、発電所やプラント設備の検査サービス事業として事業化しました。配管の腐食による減肉やスケール付着等を検査し、配管設備の安全性の診断が実施可能となりました。

成
果

機
械
・
ロ
ボ
ッ
ト

配管内検査ロボット

機械電子研究所

共同研究機関：新日本非破壊検査(株)、(株)フジコー、QEL(株)
九州工業大学、早稲田大学

研究開発に基づく成果



エルボマスター(管内検査システム)

第12回新機械振興賞 機械振興協会会長賞 受賞

実用化時期 平成20年度

実用化企業

新日本非破壊検査株式会社

住所：福岡県北九州市小倉北区井堀4-10-13

電話番号：093-581-1234

URL：<http://www.shk-k.co.jp/>

従来の課題

管の外側からの検査は、保温材の解体や足場架設等の作業が必要で、安全面およびコスト面に課題がありました。そこで、配管に進入し内部の状態を細部にわたって検査するロボットの開発が必要となりました。

開発内容

車体を「へ」字状に突っ張る走行機構に対し、機構解析により必要とされる突っ張り力や最適な連結位置の解析、3Dプリンタによるロボットの製作支援、操縦者支援ソフトの開発を行いました。

製品・技術の特徴

配管の材質や形状によらず配管内を自由に走行することができ、カメラの画像で配管内を観察できます。新日本非破壊検査(株)では、平成20年度より本検査ロボットによる検査サービス事業を開始しました。

GFRP製下水道補修管穿孔用工具

機械電子研究所

活用事業：福岡県ものづくり中小企業新製品開発補助金 等

研究開発に基づく成果



GFRP製下水道補修管穿孔用工具

実用化時期 平成27年度

商品名 JG90-4RP-45H

実用化企業

環境開発興業株式会社

住所：福岡県北九州市八幡西区本城東3-1-23

電話番号：093-602-2500

従来の課題

下水道管の補修にはGFRP材(ガラス繊維入り樹脂)が使用されています。GFRP材は高強度であるため、従来工具では補修後の各家庭との接続管穿孔作業に長時間を要することが課題となっていました。

開発内容

課題解決のため、福岡県や北九州市の補助金を活用して共同研究を実施し、切れ刃形状や材種の検討を行いました。

製品・技術の特徴

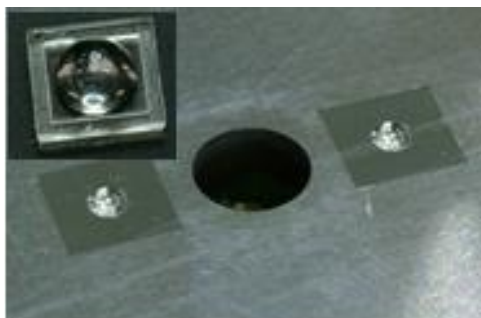
共同研究の結果、切れ刃交換式で従来品と比較して作業時間1/3、工具寿命6倍のGFRP製下水道補修管穿孔用工具を開発し、課題を解決することができました。また、開発した工具は特許出願し商品化することができました。

転写金型製造技術を利用したLEDレンズ金型

機械電子研究所

活用事業: 戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省)

研究開発に基づく成果



LEDレンズ試作金型とレンズ

第4回ものづくり連携大賞 新技術開発賞受賞
第20回型技術協会 奨励賞受賞

実用化時期

平成25年度

実用化企業

株式会社メイホー

住所: 福岡県直方市感田811-1

電話番号: 0949-26-0006

URL: <http://www.meiho-j.co.jp/>

従来の課題

植物工場の光源としてLEDの活用が進み、光学特性を考慮したレンズ付きLEDが求められています。多品種少量となるLEDレンズの試作に、従来技術で作製した金型を利用すると、コスト面で大きな課題が生じます。

開発内容

LEDレンズ試作金型に機械電子研究所で開発した転写金型製造技術を適用することを検討し、植物工場用LEDレンズ形状を高精度に転写する条件を求め、金型企業に指導しました。

製品・技術の特徴

転写金型製造技術を用いることで、植物工場用LEDレンズ金型の試作を低コストで行うことができました。

高アスペクト比を有する小径深穴加工技術

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



直径2mm、深さ300mmの穴加工(赤矢印)

実用化時期

平成24年度

実用化企業

株式会社木原ハイテック

住所: 福岡県久留米市荒木町荒木1964-11

電話番号: 0942-26-5111

従来の課題

直径2mm、深さ300mmを超える穴は、熟練工の手作業で行われていました。しかし、加工時間が長いことや、工具折損によるやり直し加工など、数多くの問題を抱えており、機械化・自動化が急務でした。

開発内容

切削加工では、工具折損の可能性があるため、放電加工での解決を試みました。条件の最適化、高圧噴流加工液などの組み合わせにより、直径2mm以下、アスペクト比150を超える細穴放電加工技術を開発しました。

製品・技術の特徴

機械による高速自動加工を実現したため、熟練工は磨き作業等、さらなる高付加価値作業へのシフトが可能となり、生産効率の向上だけではなく、金型製造納期の短縮にもつながりました。

机上計測式研削盤

機械電子研究所

活用事業：地域イノベーション創出研究開発事業（経済産業省）等

研究開発に基づく成果



机上計測式研削盤

第4回ものづくり日本大賞 特別賞受賞
第22回型技術協会 技術賞受賞

実用化時期

平成21年度

実用化企業

株式会社三井ハイテック

住所：福岡県北九州市八幡西区小嶺二丁目10番1号

電話番号：093-614-1111

URL：<http://www.mitsui-high-tec.com/>

従来の課題

金型製造は「高度な設計技術と加工技術の合体」「職人芸と近代設備の融合」等、複雑な環境で行われており、特に、金型部品の成形研削加工は、職人頼みの領域で、検査・加工には多大な時間を要しています。

開発内容

問題解決のため、ビジョン技術と精密加工技術を取り入れたリバースエンジニアリング内蔵CNC研削盤（机上計測式研削盤）を開発しました。

製品・技術の特徴

加工物を研削盤に保持したまま研削・形状計測が可能になったことで、加工の省力化、省人化、高品質化を実現できました。

産業用薄板タンク

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



低温タンク

実用化時期

平成29年度

商品名

産業用タンク

実用化企業

株式会社しろみず

住所：福岡県北九州市若松区北浜2丁目4番1号

電話番号：093-761-4631

URL：<https://www.shiromizu.co.jp/>

従来の課題

産業用タンクにおいて薄板部材のシワ不良を低減した独自成形技術開発に取り組みました。

開発内容

機械電子研究所のCAE支援ラボを活用しました。プレス成形CAEによるシワ不良が発生する要因を特定し、製造現場担当者、金数設計技術者の意見を取り入れ、採算、スペース、成形性を考慮し新規張出部を活用した成形技術を開発しました。

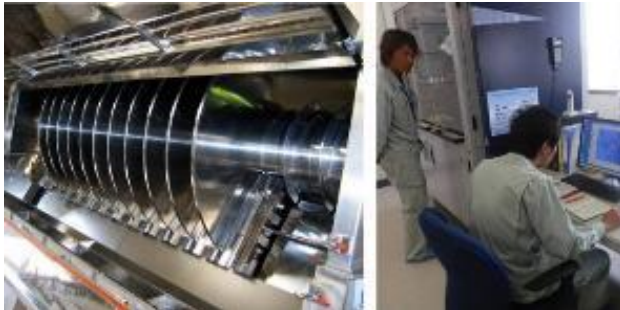
製品・技術の特徴

開発した成形技術で低温タンク部材等を製造し、品質向上を確認しています。鉄鋼関連企業への納品に至りました。

X線応力解析を活用した伝熱ディスクの製造

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



CDドライヤーに搭載された伝熱ディスクおよび応力測定の様子

実用化時期 平成27年度 商品名 CDドライヤー

実用化企業

株式会社西村鐵工所

住所: 佐賀県小城市牛津町柿樋瀬286-4

電話番号: 0952-66-1101

URL: <http://www.cddryer.com/>

企業の課題

寸法精度に優れたステンレス鋼製の伝熱ディスクを製造するために、溶接加工後に行う応力除去焼鈍(SR)の効果を定量評価するという課題がありました。

センターの取組・支援内容

平成27年度から設備開放している2元検出器を搭載したX線回折装置を活用して、溶接部近傍の残留応力解析を試みました。

取組・支援の効果

応力除去焼鈍(SR)の効果を定量評価し、伝熱ディスクの製造における品質管理や製造に活用されました。CDドライヤーは、回転する薄い中空円盤(伝熱ディスク)の両面を伝熱面としており、高効率液体濃縮乾燥機として、様々な用途・分野で活躍しています。

3Dスキャナを活用した神楽面の復元

機械電子研究所

活用事業: 糸島市校区まちづくり推進事業補助金

支援機関: 株式会社 久留米ビジネスプラザ

技術指導に基づく成果



(左)木彫りの神楽面(火鬼) (右)3Dプリンタで復元した神楽面(火鬼)

実用化時期 令和7年度

実用化企業

福井神楽保存会、福井白山神社

住所: 福岡県糸島市二丈福井4909

電話番号: 092-326-5916

URL: <https://kanko-itoshima.jp/spot/hakusanjinja/>

従来の課題

福井神楽の神楽面は長年の使用で破損が進み、神楽師の高齢化による舞手不足も深刻化しています。文化継承のため、従来の神楽面を忠実に再現した復元が求められました。

開発内容

3Dスキャナを活用して、既存の神楽面の形状を高精度にスキャンし、3Dデータとして保存しました。その後、取得したデータに対して形状の欠損部分を修正しました。

取組・支援の効果

3Dプリンタによる造形技術を活用し、下地処理や彩色などの工程を丁寧に重ねることで、従来の神楽面の迫力及び質感を忠実に再現した復元に成功しました。この3D技術活用の取り組みによって、木や紙などの伝統素材では実現が難しかった強度と再現性が容易になり、伝統文化継承に新たな道筋を作りました。

IoT/DX汎用モジュラーデバイス BraveJIG

機械電子研究所

共同研究機関：(株)Braveridge

研究開発に基づく成果

従来の課題

環境が異なる多様な製造現場に設置でき、簡単に導入できるIoTデバイスが求められていました。

開発内容

IoT/DX汎用モジュラーデバイス「BraveJIG」を共同開発しました。BraveJIGは、各センサーとBluetooth®通信するルーターやセンサー、給電パーツ等をそれぞれモジュール化した構成になっており、製造現場等の環境に合わせてモジュールを選択することで多様な現場の見える化が可能です。

製品・技術の特徴

BraveJIGには汎用的なセンサーをラインナップし、センサーは無線化されています。IP65相当の防水・防塵仕様となっており、汎用部材への設置を簡単にできる取付ベースも用意されています。BraveJIGは、弊所で開発・無償公開している「IoT導入支援キット」を使用することで、すぐに見える化することができます。



BraveJIG

実用化時期 令和6年度

商品名 BraveJIG(ブレイブジグ)

実用化企業

株式会社Braveridge

住所：福岡県福岡市西区周船寺3-27-2

電話番号：092-834-5789

URL：<https://www.braveridge.com/>

IoT導入支援 組立てモジュール BravePI

機械電子研究所

共同研究機関：(株)Braveridge

研究開発に基づく成果

従来の課題

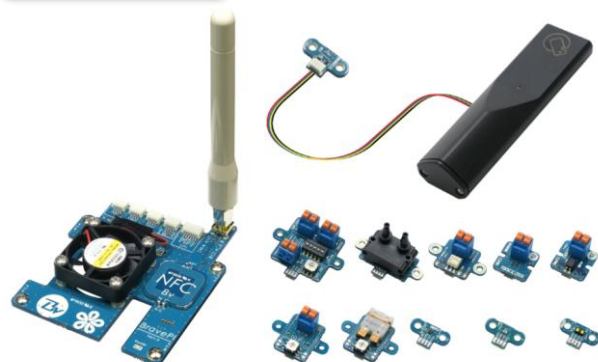
「IoT導入支援キット」の現場導入に際し、有線センサーの配線引き回しや電源確保の問題、はんだ付け作業が必要であるなど、使い勝手の面で改善すべき課題がありました。

開発内容

「IoT導入支援キット」のセンサー部として使用可能な基板と様々なセンサー群を備えたIoT導入支援組立てモジュールBravePIを共同開発しました。また、無線トランスミッターを使用することで、センサーの無線化・電池駆動を実現しました。

製品・技術の特徴

「IoT導入支援キット」のセンサーモジュールとして使用でき、豊富なセンサー群から用途に応じたセンサーと電池駆動が可能な無線トランスミッターをコネクタで繋ぐだけで、IoT導入支援キットとセンサー間を無線化しました。現場導入に際し、はんだ付けや信号線・電源線の引き回しが不要となり、簡単にIoT導入ができます。



無線トランスミッターによるセンサーの無線化(右上)
BravePIメインボード(左)、様々なセンサー群(右下)

実用化時期 令和5年度

商品名 IoT導入支援 組立てモジュール「BravePI(ブレイブパイ)」

実用化企業

株式会社Braveridge

住所：福岡県福岡市西区周船寺3-27-2

電話番号：092-834-5789

URL：<https://www.braveridge.com/>

生産進捗管理システム YokaKit

機械電子研究所

共同研究機関：(株)戸畑ターレット工作所、(株)ちよっとメーション

研究開発に基づく成果



YokaKit 稼働状況表示画面

実用化時期 令和5年度

商品名 YokaKit

実用化企業

株式会社戸畑ターレット工作所

住所：福岡県北九州市小倉南区新曽根11-31

電話番号：093-471-7403

URL: <https://www.t-turret.co.jp/>

従来の課題

生産現場において、設備の稼働状況の見える化や工程改善などによる収益力向上が課題となっており、初期費用を抑え、早期に改善効果を得られるデジタルツールが求められています。

開発内容

「IoT導入支援キット」等から得られたデータを用い、生産進捗管理や設備の稼働状況の可視化が簡単に可能な生産進捗管理システムを開発しました。工業技術センターホームページにてソフトウェアを無償公開中です。

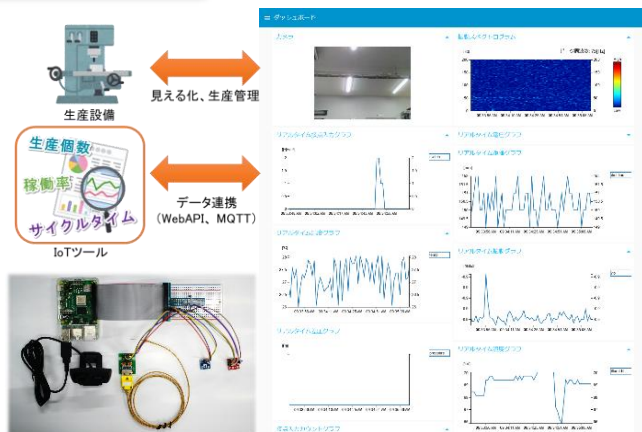
製品・技術の特徴

「IoT導入支援キット」のカウント機能を利用して、製品の生産状況の記録や稼働率等の指標を可視化できます。また、温度センサーや照度センサーを使用して、モーター温度やシグナルタワーの点灯を監視することで、稼働状況のリアルタイム表示ができます。

生産現場の見える化を体験する「IoT導入支援キット」

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



連携機能(左上)、自作センサー基板(左下)
様々なセンサーによる生産現場の見える化(右)

実用化時期 令和2年度

商品名 IoT導入支援キット

実用化部署

機械電子研究所 電子技術課

住所：北九州市八幡西区則松3-6-1

電話番号：093-691-0260

URL: <https://www.fitc.pref.fukuoka.jp/case-study/iot.php>

従来の課題

IoT導入には費用対効果や有用性の検証が重要ですが、初期費用や専門知識が必要であり容易ではありません。

開発内容

検証を安価・容易に実施するツールとして、様々な汎用センサーを備え、「生産現場」「生産管理」の見える化を可能とするセンサー基板とソフトウェアを開発しました。

製品・技術の特徴

汎用センサー(温度・加速度・距離・照度・接点入出力・差圧・AD変換・カメラ)を標準装備し、振動の周波数解析(スペクトログラム)および「生産現場」「生産管理(生産数・稼働時間等)」の見える化を容易に実現できます。また、他のIoTツール・生産設備との連携機能やメール等の通知機能にも対応しています。ソフトウェア・センサー基板作製方法等の技術情報は工業技術センターHPにて無償公開中です。(現 ver. 3.0)

成
果

電
子
・
ソ
フ
ト
ウ
ェ
ア

トルネード式UV-Cサーキュレーター Impact Blaster

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



Impact Blaster

実用化時期 令和5年度

商品名 Impact Blaster

実用化企業

株式会社REIZ

住所: 福岡県北九州市戸畑区新川町6-19

電話番号: 093-616-1141

URL: <https://reiz.co.jp/>

従来の課題

フィルタ交換の手間がなく、自動車内の空気を浄化できる小型の自動車用空気清浄機が求められていました。

開発内容

光学シミュレーションソフトを用いて、コンパクトでありながらUV-Cでウイルスや菌を除去する構造を設計・解析し、除菌能力を推定しました。また、UV-C漏れ光を抑制する材料や構造を提案しました。

製品・技術の特徴

流路をトルネード構造にすることでウイルスや菌が流路内に留まる時間を長くし、多重反射によって流路内に満たされたUV-C空間を通過することで、ウイルス除去性能(60分間で99.2%減少)、UV-C漏れ光ゼロ、フィルタレスを実現しました。UV-C除菌を安全にご使用いただけます。

UV-A除菌脱臭 バウム灯

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



商品名

【ウィルド365】LED除菌脱臭 バウム灯 UVPOD365

実用化時期 令和4年度

実用化企業

I-Light(株)

住所: 福岡県福岡市南区寺塚1-6-5パロマ・ヴィラ寺塚205号室

電話番号: 092-409-7305

URL: <https://ilight-agg.co.jp/>

企業の課題

製品の紫外線放射強度と方向を測定し、部屋に設置した時の放射照度分布を解析したいと相談がありました。

センターの取組・支援内容

紫外線測定システムを用いて配光測定を実施し、製品の性能を確認しました。また、同時に得た配光データ(IESデータ)を3次元照明シミュレーションソフトに設定し、部屋の床や壁、天井の放射照度分布を解析することができました。

取組・支援の効果

製品の紫外領域における配光測定と3次元照明シミュレーションにより、製品の設置場所の検討や紫外線強度及び安全性を見積もることができるようになりました。

LED照明色温度の切り替えが可能なソーラーLEDライト

機械電子研究所

共同研究機関: (株)リーフライト

研究開発に基づく成果



ソーラーLED照明(左)と色温度切り替え例

実用化時期 令和2年度

商品名 ストーク シーズンライトチェンジ

実用化企業

株式会社リーフライト

住所: 福岡県福岡市博多区寿町2-4-11

電話番号: 092-584-0150

URL: <http://www.leaflight.co.jp/>

従来の課題

ソーラーLED照明は年中同じ色温度で点灯しており、気温の低い時期でも寒色系の青白い光で照明するなど、季節に合った照明環境を提供できておらず、照明の快適さが求められていました。

開発内容

2枚のLED基板、制御マイコン及びセンサーを搭載し、設定した日時で色温度が切り替わる機能と周囲温度をセンシングして時期と現在気温に合った色温度に切り替わる機能を開発し、実装しました。

製品・技術の特徴

独立電源のため、停電時にも明かりを確保でき、春夏は寒色系の色温度で照明することで涼しさを感じ、秋冬は暖色系の色温度で照明することで暖かさを感じることができます。同じ色温度のLED基板を2枚実装すれば、灯具寿命が2倍になり、保守・管理を省力化できます。

サイン用ソーラーLEDブラケットライト SIGNaGE

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



実用化時期 平成30年度

商品名 ソーラーブラケットライト SIGNaGE

実用化企業

株式会社リーフライト

住所: 福岡県福岡市博多区寿町2-4-11

電話番号: 092-584-0150

URL: <http://www.leaflight.co.jp/>

従来の課題

従来製品はサイン(看板)の上端に光が集中し、サイン下方が暗く、文字や写真などが見えにくいことが課題であり、サイン全体を照らす工夫が求められていました。

開発内容

CAEを活用して、サインに到達する光を広げる専用レンズを設計しました。これを取り付けることで、サインの平均照度が43%向上し、ピーク照度を34%抑制、視認性が向上しました。

製品・技術の特徴

本製品は災害時や停電時でもLED照明が点灯し、夜間の情報伝達を支援します。また、独自の電力制御技術により、夜間365日立ち消えすることがありません。岩手県や宮城県、福島県、熊本県、東京都など全国各地に導入されています。

低コストLED照明器具

機械電子研究所

活用事業：福岡県ものづくり中小企業新製品開発補助金

研究開発に基づく成果



低コストLED照明器具

平成29年度九州・沖縄地域企業 & 公設試・産総研
合同成果発表会 優秀賞受賞

実用化時期

平成27年度

商品名

NEO-LUX LEDダウンライト

実用化企業

株式会社コーセイジャパン

住所：福岡県京都郡苅田町港町8-11

電話番号：093-436-6136

URL：http://www.kosei-japan.com/

従来の課題

LED照明器具の低コスト化及びコンパクト化を進める上で、放熱性能の高いヒートシンクの開発、LED照明の配光特性（光の強さと広がり）の設計が課題でした。

開発内容

CAE（熱流体解析）を活用したヒートシンク（放熱部品）の最適設計による放熱性能の向上を図りました。また、照度・配光特性に関するCAE（照明解析）及び照明特性実験を行いました。

製品・技術の特徴

既存製品と同等の性能を有する低コストのLED照明器具の開発につながりました。
開発したLED照明は、工場・倉庫・店舗向けとして使用されています。

無電極ランプ照明

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



エコ太郎 PJ150N-SK

実用化時期

平成25年度

商品名

エコ太郎

実用化企業

プロライト株式会社

住所：福岡県京都郡苅田町苅田3787-28

電話番号：093-435-5130

URL：http://www.prolight.co.jp/

企業の課題

無電極ランプ照明を販売するにあたり、放出される電磁ノイズを電波法で定められた規制値以下に収める必要がありました。また、光学特性についても性能を把握する必要がありました。

センターの取組・支援内容

電磁ノイズの評価・対策の支援、および光学特性の評価の支援を行いました。

取組・支援の効果

電磁ノイズに関しては、インバータの改良等により電波法の規制値以下に収めることができました。また、光学特性に関しても、様々なインバータとランプの組み合わせに対して性能を確認できました。

作業者接近検知システム

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



作業者接近検知システム

実用化時期 平成24年度

実用化企業

吉川工業株式会社

住所: 福岡県北九州市八幡東区尾倉2-1-2

電話番号: 093-671-8660

URL: <http://www.ykc.co.jp/>

企業の課題

システムが誤動作を起こさないように電磁ノイズに対する耐性を持たせる必要がありました。また、無線通信のためのアンテナ特性、電磁界強度分布を把握する必要がありました。

センターの取組・支援内容

電磁ノイズ耐性評価に関する支援を行いました。また、電磁界解析により様々な条件での無線評価を行いました。

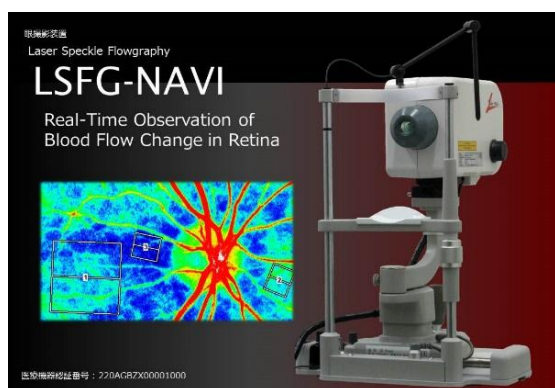
取組・支援の効果

LF帯磁界とUHF帯電波を利用し、重機（フォークリフト等）の運転時にRFIDタグを身に着けた作業者の接近状況を検知・警告し、事故を未然に防ぐシステムを商品化しました。

医療用眼撮影装置

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



眼撮影装置「LSFG-NAVI」

実用化時期 平成23年度 商品名 LSFG-NAVI

実用化企業

ソフトケア有限会社

住所: 福岡県福津市八並243-5

電話番号: 0940-36-9693

URL: <http://www.softcare-ltd.co.jp/>

企業の課題

装置を販売するにあたり、放出される電磁ノイズをEMC規制値以下に収める必要がありました。また、装置が誤動作を起こさないように外来の電磁ノイズに対する耐性を持たせる必要がありました。

センターの取組・支援内容

放出される電磁ノイズの評価、及び外来の電磁ノイズに対する耐性の評価に関する支援を行いました。

取組・支援の効果

LSFG（レーザースペckルフローグラフィ）技術を用いて、眼底の血流状態をリアルタイムな2次元画像として観察できる装置を商品化しました。

QRコード出退勤打刻システム

機械電子研究所

技術指導に基づく成果



QRコードで打刻するIoTデバイス

実用化時期 令和6年度

実用化企業

株式会社Fusic

住所: 福岡県福岡市中央区天神4-1-7 第3明星ビル6F

電話番号: 092-737-2616

URL: <https://fusic.co.jp/>

企業の課題

QRコードの読み取りによる出退勤打刻を行うIoTデバイスを開発しましたが、デバイスの筐体の構造設計や3D造形による基板やカメラの支持構造の設計が課題でした。

センターの取組・支援内容

筐体の設計支援を行い、3D CAD設計や3Dプリンタによる試作、現場に適した構造改良を行いました。

取組・支援の効果

福岡県庁の100箇所以上の出先機関に、開発したIoTデバイスを配置することで、職員の出退勤時刻を一元管理できるようになり、サービス残業の防止と適切な労務管理が可能となりました。

新毒劇物管理システム(福岡県工業技術センター専用)

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



新毒劇物管理システム

実用化時期 令和6年度

商品名 新毒劇物管理システム

実用化部署

機械電子研究所 電子技術課

住所: 北九州市八幡西区則松3-6-1

電話番号: 093-691-0260

従来の課題

福岡県工業技術センターでは、業務で取り扱う毒劇物の使用状況をデジタル管理するツールを内製し運用してきました。しかし、拡張性が低く、誤登録データの修正が困難であることなどから、継続運用に懸念が生じていました。

開発内容

拡張性を備え、継続的な運用を見越した新たな毒劇物管理システムを開発しました。新システムでは毒劇物使用状況の登録端末であるWindowsタブレットと、各研究所の毒劇物の使用履歴等を集中管理するサーバで構成されています。

製品・技術の特徴

WindowsタブレットのアプリケーションはサーバとHTTP通信を行い、毒劇物の使用状況を登録できます。サーバには毒劇物の使用履歴が登録され、専用サイトから閲覧や使用簿等の出力ができます。また、登録データを修正・追加できる管理者用サイトも整備しました。

デジカメ三次元計測システム「デジカメ計速」

機械電子研究所

共同研究機関: (株)春田建設、九州工業大学、マツノデザイン店舗建築(株)
Manycolors(株)

研究開発に基づく成果



計測の様子

第5回フクオカRuby大賞
企業賞「セールスフォースドットコム賞」受賞

実用化時期

平成25年度

商品名

デジカメ計速

実用化企業

株式会社春田建設

住所: 福岡県飯塚市平恒42

電話番号: 0948-29-0013

URL: <http://www.dc-keisoku.com/>

従来の課題

建築、土木工事において、施工対象の計測は重要な工程ですが、人員も時間も必要でコストがかかります。また、直接計測を行う場合は、危険が伴います。

開発内容

汎用デジカメと指標となるマーカーだけで、撮影対象物の寸法や面積がわかる三次元計測システムのアルゴリズムを開発し、マーカーの製作、精度の検証を行いました。

製品・技術の特徴

汎用デジカメとマーカー、そしてインターネットに繋がったPCだけで計測するクラウドサービスが実用化されました。デジカメで撮影するだけなので安全性に優れ、クラウドサービスなのでどこでも利用でき、簡単なクリック操作のみで計測ができます。

高純度Japan Waxの製造法および長期安定化技術

化学繊維研究所

共同研究機関: 荒木製蠟(株)、九州大学

研究開発に基づく成果



燭蠟/Japan Wax

平成27年度「ふくおか共助社会づくり表彰」

実用化時期

平成27年度

実用化企業

荒木製蠟株式会社

住所: 福岡県みやま市高田町江浦町386

電話番号: 0944-22-5313

従来の課題

燭蠟(はぜろう/Japan Wax)は、燭の実から抽出される希少な天然油脂であり、化粧品、潤滑剤などの素材原料として使われてきました。一方、着色や成分劣化による酸化臭発生等の課題を持っていました。

開発内容

燭蠟の臭気に関する課題を解決する方法として新たな加熱処理技術を検討しました。様々な処理条件と燭蠟の臭気発生量や着色度合を系統的に評価し、適切な処理条件を確立することができました。

製品・技術の特徴

臭気無く、白色度にも優れた高純度Japan Waxとして製品化されました。従来品より品質も長期安定化することが確認されています。

レールボンド打音検査装置

機械電子研究所

共同研究機関: 新日本非破壊検査(株)、(株)昭和テックス

活用事業: ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助事業(中小企業庁)

研究開発に基づく成果



ソレノイド式打音検査装置(上)とハンマー式打音検査装置(下)

第6回ものづくり日本大賞 製品・技術開発部門 優秀賞 受賞

実用化時期 平成28年度

実用化企業

株式会社昭和テックス

住所: 福岡県古賀市薬王寺1743-4

電話番号: 092-946-9108

URL: <http://www.showatecs.co.jp/>

従来の課題

レールボンドはレールにろう付けする鉄道インフラ部品です。現場で確実に接着されていることを調べるための客観的かつ信頼性が高い検査法が望まれていました。

開発内容

打音の特徴的な波形を周波数解析し良否判別技術確立し、ソレノイドによる打撃の機械化、装置の小型化・軽量化を支援しました。

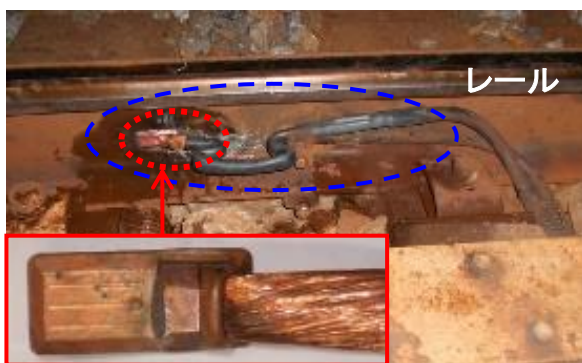
製品・技術の特徴

実フィールドで検査可能なことを検証し、打音検査装置を鉄道事業者へ販売しています。予防保全へ転換できるツールとして利用されています。

高耐久性新型レールボンド

機械電子研究所

研究開発に基づく成果



レールボンド(装着ボンド)とレールボンド端子

第5回ものづくり日本大賞 製品・技術開発部門 優秀賞 受賞

実用化時期 平成24年度

実用化企業

株式会社昭和テックス

住所: 福岡県古賀市薬王寺1743-4

電話番号: 092-946-9108

URL: <http://www.showatecs.co.jp/>

従来の課題

レールボンドは鉄道用のレールとレールを電氣的に接続する役割を持ちます。従来の直流用レールボンドは、その重さにより振動に耐えられなくなり頻繁に交換する必要がありました。

開発内容

(株)昭和テックスと共同で、構造解析を駆使したレールボンド端子にかかる力を低減する形状の最適化、およびハンダの適正な加熱温度・時間の解明を行いました。

製品・技術の特徴

開発した高耐久性新型レールボンドは、脱落防止対策ボンドとして指定を受けるなど、鉄道会社に広く採用が進んでいます。

共創して目指そうオンリーワン！

福岡県工業技術センタークラブ

◆目的

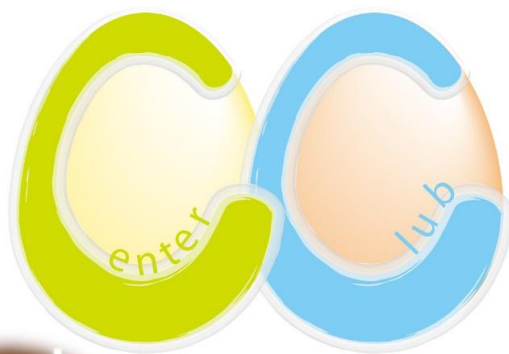
福岡県工業技術センタークラブは、会員企業と福岡県工業技術センターが、より密接な情報交換と連携を行うことで、新製品・新技術の共同研究開発を活性化し、ビジネスマッチングなどを通して競争力のある企業の発展を目指します。(平成13年設立)

◆主な活動

1. 専門分野別の先端技術や最新機器の講習会
2. 高度な生産技術を有する県内外の工場見学
3. 異業種交流によるビジネス展開支援
4. 事業化へ向けた展示会出展支援
5. 補助金等の情報提供と申請支援

◆会費 年会費 10,000円

(行政機関、金融機関及び公的産業支援機関は、無料)



密接な
情報交換

連携

共同研究開発

ビジネスマッチング

競争力のある
企業

福岡県工業技術情報メルマガ

会員募集

登録
無料

工業技術センターから皆さまのオフィスへ
旬の情報をお届けしています

福岡県工業技術情報メルマガ 会員登録はこちらから

<https://www.fitc.pref.fukuoka.jp/>

または

FITC メルマガ

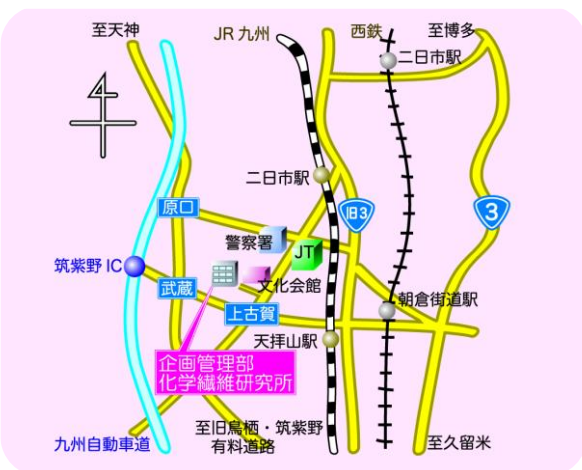
検索



プライバシーポリシー

収集した個人情報の利用及び管理は「福岡県個人情報保護条例」に基づき適正に取り扱います。

研究所へのアクセス



化学繊維研究所(企画管理部)

〒818-8540 筑紫野市上古賀3-2-1
TEL 092-925-7721(代表) FAX 092-925-7724
092-925-7402(支援室:相談窓口)

- 西鉄二日市駅・JR二日市駅から
西鉄バス(2-1、2-2、2-3系統)にて
文化会館前下車、徒歩3分
- 九州自動車道 筑紫野ICより車で5分



生物食品研究所

〒839-0861 久留米市合川町1465-5
TEL 0942-30-6644(代表) FAX 0942-30-7244
0942-30-6213(支援室:相談窓口)

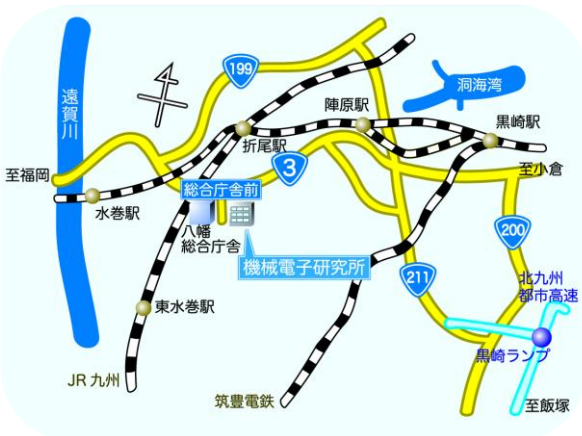
- JR久留米駅から
西鉄バス:20系統にて総合庁舎前下車、徒歩7分
23系統にて百年公園前下車、徒歩5分
- 西鉄久留米駅から
西鉄バス:1, 9, 20, 22, 25系統にて
総合庁舎前下車、徒歩7分
5, 23系統にて百年公園前下車、徒歩5分
- 九州自動車道
久留米ICより車で5分



インテリア研究所

〒831-0031 大川市上巻405-3
TEL 0944-86-3259(代表) FAX 0944-86-4744
同上(支援室:相談窓口)

- 西鉄柳川駅から
西鉄バス佐賀駅バスセンター行き乗車
国際医療福祉大学前下車(約20分)、徒歩10分
- 九州自動車道
八女ICより車で40分
- 長崎自動車道
東脊振ICより車で30分



機械電子研究所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松3-6-1
TEL 093-691-0260(代表) FAX 093-691-0252
093-692-0231(支援室:相談窓口)

- JR折尾駅から徒歩20分
- 九州自動車道
古賀ICより車で30分
- 北九州都市高速道
黒崎ICより車で15分

福岡県工業技術センター

検索



福岡県工業技術センター

〒818-8540 福岡県筑紫野市上古賀3-2-1

TEL:092-925-7721(代表) 092-925-5977(相談) FAX:092-925-7724

Mail: joho@fitc.pref.fukuoka.jp <https://www.fitc.pref.fukuoka.jp>